



週刊 YEAR BOOK

1991
平成3年

日録20世紀

12/22

平成10年12月22日発行
(毎週1回火曜日発行)
第2巻第48号 通巻91号
平成10年8月21日第三種郵便物認可

¥560
講談社

雲仙普賢岳、恐怖の大噴火!

「湾岸戦争」勃発! 日本、130億ドル負担の構図
住銀、野村、興銀など金融犯罪続出と“闇の紳士”
ゴルバチョフの思惑を超えた「ソ連邦」消滅!



被害総額2300億円、1万1012人が避難生活 6月3日、時速100*₀の大火砕流は43人の命を 雲仙普賢岳、恐怖の



▲5月20日、普賢岳の地獄跡火口に、溶岩ドームが形成されたことが確認された。共同通信社

平成三年六月七日、島原市は、雲仙普賢岳の噴火により人命の安全を考え、市内の住宅地を立ち入り禁止の警戒区域に設定した。自然災害で、住宅地が警戒区域となったのは史上例を見ない。一九八八年ぶりという普賢岳の大噴火による島原地方の被害の傷跡は、火山活動終息後、癒えるどころか今も深刻さを増している。

駆け下った大火砕流が
山裾にいた人々を直撃

平成三年六月三日、午後四時をまわったばかりの時だった。「ザッ」とも「ドーン」ともつかない轟音とともに、建物の電気は消え、夜でもないのに周辺が真っ暗闇になってしまった。雲仙普賢岳山麓の眉山にある窯元（かまもと）に勤務していた松前隆美さん（三八）は、自分のいる建物が土砂に埋まってしまったのかと思った。おそろおそろとドアを開けてみると、外からものすごい熱風が入りこむ。取材陣はじめ四三人の命を奪った大火砕流が駆け下った直後のことだった。時速一〇〇キロにも達する猛スピードを持つ火砕流は、一瞬のうちに山麓まで達したが、眉山がついたとたって窯元は直撃をまぬがれたのである。松前さんは、あわててドアを閉め、しばらく後に再び開けてみると、建物脇に停めておいた通勤用の車は、こげた木の下敷きになっていた。

普賢岳の様子は明らかに普段と違っていた。この日の島原地方は厚い雲におおわれて、普賢岳の火口はまったく見えない。だが、少なくとも一時間あった火砕流が発生する間隔は、異常に短くなって

奪った 大噴火!



▲6月8日午後7時51分、最大規模の火砕流が地獄跡火口の東斜面を駆け下る。先端は火口から約5.5キロ下の国道57号線近く、有明海まで約1.6キロの地点に達した。朝日新聞社（3点とも）



▲8日に発生した火砕流の火山灰と溶岩片が、山麓の水無川を埋めつくし、川ぞいの民家など73棟が炎上した。一夜明けた9日、国道57号線手前の札の元町付近で撮影。



▶5月29日、1359メートルの山頂から山腹を流れ落ちる溶岩流。普賢岳は、平成3年5月以降活動が一層活発化し、6月3日には、火砕流による死者・行方不明者が43人にものぼる大惨事が勃発した。

被害総額2300億円、1万1012人が避難生活
6月3日、時速100^{km/h}の大火砕流は43人の命を奪った
雲仙普賢岳、恐怖の大噴火！

シャッターを押す間もなく

平成2年秋からの普賢岳噴火災害では、合わせて死者44人を出したが、そのうち43人は平成3年6月3日の大火砕流によるものである。被災した人の中で、最も多いのが報道関係者の16人だった。彼らは、火口から約4^{km}離れた上木場地区に取材前線基地を設営していた。「定点」と呼ばれたその場所は、カメラアングルなどの点から火砕流や土石流の撮影に最適で、安全性も確保できると考えられていた。火山学者が同じ場所で観測していたことも、報道陣に安心感を与えた。火砕流のスピードは時に時速100^{km/h}を超える猛烈なもの。被災者たちは不意打ちにあり、収容された遺体の中にはシャッターを押そうとするかのように、右手の人差し指が曲がった状態のものもあった。

一瞬のうちに襲いかかった1000度にも達する熱波は、秒速30^{m/s}に近い猛スピードで通りすぎていった。したがって被災者の死因は、熱による呼吸不全がほとんどだった。報道陣のカメラの多くは、ストラップが焼けこげた以外はほぼ無傷のままで、迫りくる火砕流の様子を撮影した写真も残されている。また、遺体付近で、周囲がこげてはいないが判読可能な取材メモが発見された。



▲大火砕流で殉職した読売新聞写真部記者・田井中次一氏の愛機「ニコンF4」。灰ですまじけているが、大きな損傷はなかった。

長崎県の推計では、普賢岳噴火災害の被害総額は、二〇〇億円とされる。これは島原市の年間総生産の二倍に相当する。また、これまでに投じられた復興予算は二五九〇億円（平成八年度までの累計）に達した。だが火山活動終息以降も、島原の被害は拡がりつつある。仕事を求めて若年層が流出、市の高齢化率は二〇〇四年に達している。漁獲高は、年々減少の一途をたどっている。不況の追い打ちもあり、倒産したホテル跡が更地のまま放置され、観光汽船会社の経営がゆき詰まるなど、噴火被害は今現在もけつて終わっていない。



▲谷を出て扇状に広がった、6月3日の火砕流。「焦熱地獄」に襲われた島原市上木場地区で、翌4日撮影。読売新聞社

陣などが安全な息抜き場として、かわるがわる訪れていた。その中にはこの日の火砕流の犠牲となった、フランス火山学者・クラフト夫妻もいた。「マスコミ関係者や学者まで来られるので、すっかり安心していました」（松前さん）

事実、この日の大火砕流の被害者の多くは、松前さんのいた窯元よりも山裾近くにいた人々だった。

島原市は経済活動が麻痺 住宅密集地が警戒区域に

普賢岳が一九八八年ぶりに噴火したのは、平成二年一月一七日朝のことだった。そして火山活動は、平成七年五月二五日に一応の終息宣言が出されるまで、約四年半にわたって続いた。

地獄跡火口から吹き出す溶岩は、次々にドームを作り、一定量に達すると溶岩流や火砕流となって、麓の島原地方を襲った。この年の五月以来、火砕流は連日発生し、多い時で一日二〇回、そして平成八年の五月までに、合計九四三二回も発生している。また火山噴出物の上に雨が降ると、それはすぐに土石流となり、中には直接海にまで達するものもあった。そして周辺の民家、農地、交通施設などを埋没させ、破壊しつくした。土石流や火砕流による直接の被害だけ

ではなかった。粘着性のある降灰は、島原のタバコ畑など作物や牧草を壊滅させた。水をかけたくらいでは落ちない灰が、毎日降り続いたからである。地元の人々で、島原鉄道は寸断され、もうひとつの主要産業である観光も、訪れる客があるはずもなく開店休業状態となった。要するに島原は、経済活動が麻痺し、住民の姿もまばらな「ゴーストタウン」と化したのである。

いた。記録によれば、この日、午後三時台には四回もの火砕流が発生している。すぐに逃げなければならぬと感じた松前さんは、聴覚に障害のある子どもさん二人を連れて表に出た。外はサウナ室のような熱さだった。徒歩で逃げるしかない、と松前さんは覚悟した。道には、高温の灰が一〇センチ以上も積もり、靴の底はすぐに溶けてしまった。

「靴下だけで夢中で走りましたが、地面は真夏の浜辺の砂よりもずっと熱く、そのうえ真黒に焼けこげた死体やら、炭のようになったバトカーを見て、子どもたちはショックで歩けなくなっていました。私たち親子が助かったのは、たまたま急を聞いて助けに帰ってくれた人の車に拾われたからでした」（松前さん）



▲灰をかぶり、窓ガラスを吹き飛ばされたバトカー。6月3日午後7時、島原市上木場地区で発見された。読売新聞社

「油まみれの水鳥」ヤラセ映像が象徴する米国流「正義」の矛盾 「湾岸戦争」勃発！ 日本、戦費二二〇億ドル負担の構図

イラクのクウェート侵略が発端となった「湾岸戦争」で、米国中心の三三カ国からなる多国軍は、イラク軍を相手に圧倒的勝利をおさめた。参加国中では最高額の二二〇億ドルの戦費を負担し、超法規的措置で自衛隊機の中東派遣まで行った日本政府だが、またしてもこの戦争で危機管理の甘さを露呈。独自の構想を欠いたまま、米国相手の「言い値外交」を繰り返した。

イラクにミサイルを発射 「砂漠の嵐」作戦の幕開き

「閃光が尾を引いて空中に上がっていき、星の爆発、暗黒の空で星が爆発したみたいだ」

CNNテレビのバーナード・ショー記者が、「湾岸戦争」の戦開始を実況中継し始めたのは、一九九一年一月二七日午前二時三〇分（現地時間）。その三〇分後、米戦艦「ミズーリ」をはじめとする軍艦九隻が、イラクの首都・バグダッドにトマホークミサイルを連射した。一発一三五万ドル（約一億八〇〇〇万円）と言われる時速約八八五キロのトマホーク

ロイター サンテレフォト



の閃光が夜空を行きかい、次々とイラクの通信指揮センターや弾道ミサイル発射基地などを爆破。第一波攻撃に続いて、英国のトルネード攻撃機、フランスのジャガー攻撃機など多国軍軍機が、バグダッド宮殿や国防省などを破壊した。空爆開始直後、米国のフィッツウォーター報道官が、第二次世界大戦時のアイゼンハワー将軍の言葉を引用したブッシュ大統領（六七）の声明を読みあげる。ヘ



られるイラク軍兵士たち。 Jacques Langevin Sygma IPJ



▲2月25日、地上戦開始後、多国軍の捕虜となり、サウジアラビアへ送

と同時に、多国軍六九万人による包囲網を形成。撤退期限をすぎたこの年一月一七日、ついに開戦に踏み切ったのだ。

「砂漠の嵐」作戦のコードネームのもとに、国連安全保障理事会による要求を実行し始めた……これが、一日の戦費五億（約六七五億円）とされ、約四〇日間にわたり、ハイテク兵器と計八万八五〇〇もの爆弾を使用した「砂漠の嵐」作戦の幕開きだった。

「湾岸戦争」の発端は、一九九〇年八月二日のイラク軍約三十五万人によるクウェート侵攻だった。ブッシュ米大統領は、「クウェートがイラクの油田を盗掘している」という理由で侵攻したイラクのサダム・フセイン大統領（五四）のねらいが、石油市場の支配にあると反発。経済制裁に加え、一月二九日には、イラクがクウェートから一九九一年一月二五日までに撤退しない場合の軍事制裁を認める「国連決議六七八号」の採択を取りつ

最高額の戦費を出しても 蚊帳の外におかれた日本

日本政府が「憲法の「九条」に抵触する戦争当事国への戦費支出の法的根拠を曖昧にしたまま」米国の要請どおりに四〇億ドルの中東支援策を発表したのは、前年八月二九日と九月一四日だった。さらに政府は九月一九日、臨時閣議で「国連平和協力法案」を決定し、ただち

に国会に提出。日本の米国に対する協力姿勢を明らかにした。にもかかわらず、米下院軍事委員会は、湾岸危機への各国貢献度を発表し、日本には合格スレスレの「C」評価をつけたという。

刻とほぼ同時刻の一月二七日午前八時三〇分頃。九時三十八分、政府はあわてて首相官邸地下一階の小食堂に「湾岸危機対策本部」を設置する。

「日本の対策本部の設備はサミット（先進国首脳会議）参加国の中で一番ひどい。三三台の電話や四台のワープロは持ちこんだものの、各国の時間が一日でわかる



▲クウェートを占領しているイラク軍と一戦交えるため、サウジ北部に向かう米軍戦隊。1月26日撮影。 AP WWP

時差時計もなければ、複数のチャンネルが同時に見られるように何台ものテレビが用意されることもなかった。第一、声が簡単に外にもれる部屋で、情報管理はできません」

危機管理問題の専門家で元内閣安全保障室長の佐々淳行氏は、そう語る。

にわかにできた危機管理の壁は、金ばかり取り取られても蚊帳の外におかれている日本の立場、政府の情報収集力や分析能力の低さを如実に露呈するものだった。にもかかわらず、海部首相は二月一八日、九〇億（一兆二〇〇〇億円）の追加支

援と、被災民を移送する自衛隊機の派遣案を表明。「憲法の平和主義、国際協調主義に合致する」と主張し続け、一月二五日には「湾岸戦争」だけの特例政令という「超法規的」措置で、自衛隊機の海外派遣を決定した。

ところが、日本のこの歴史的決断の理由となった「湾岸戦争」の「正義」や「国際協調」に疑問を投げかけるのが、評論家の山川暁夫氏だ。

「ヤラセが判明した『油まみれの水鳥』映像をはじめ、米国のかざした正義には数々の矛盾がありました。それどころか、



▲自衛隊初の海外派兵「ペルシャ湾掃海派遣部隊」第1陣3隻が、4月26日に横須賀基地を出航。



▲バグダッド爆撃で家を失い、茫然として座りこむ60歳の女性

イラクがクウェート侵攻時に内務省公安総局で押収した極秘文書によって、米国のCIAがクウェートを侵攻するように仕向けた疑いさえ指摘されている。「湾岸戦争」は、米国が中東での軍事プレゼンスを確保し、石油を支配するために仕掛けた疑惑が強くあるわけです」

事実、米国は以後も中東に兵力二万五〇〇〇人を維持。クウェートの復興事業をほぼ独占し、英国系銀行は米国系に取って代わられた。

結局、米国が、人勝ちした戦争を、世界中で最前線の「〇億」の戦費支出（後に円安で目減りした分五億を補填）、歴史的な自衛隊機派遣までやって支えたのが、日本だったわけである。

国際基督教大学の功刀達朗教授も、日本政府の対応を次のように指摘する。

「湾岸戦争」は、日本に平和国家としての姿勢を問うものでした。実際、政府は、多国籍軍に財政支援し、自衛隊機や



▲パウエル米統合参謀本部議長（左）とシュワルツコフ米中東軍司令官

女たちの肖像

稲葉真弓

宮沢りえが残したかった 「八歳のきれいな自分」 『Santa Fe』発売！

この年の一〇月一三日と一四日、「読売新聞」「朝日新聞」に全面広告が載った。女優・宮沢りえのヘア・スード写真集『Santa Fe』（朝日出版社）の予約受付開始の広告だった。これが、日本列島を彼女のういうい「ハダカ」でいっぱいにする騒動の始まりだった。発売日の一月一三日、全国の大手書店は老若男女であふれ返り、東京のある本屋では混乱をおそれ、予約券を持った人だけに裏口で本を渡したほど。日本だけではなく香港でも海賊版が出まわるといふ現象となり、初版二〇万部は、最終的に二五五万部という「怪物的」部数にまで膨れあがったのである。

宮沢りえはこの写真集発売の動機を、撮影した篠山紀信との対談で「一八歳の今の『きれいな自分』を撮っておきたかった」と語っている。当初は「個人的な記念」のつもりだったのが、バブルの波に乗って、あれよあれよとフィーバー、ヘア・スード写真集ブームの呼び水ともなった。



▲映画「豪姫」やNHKのドラマ「青春牡丹燈籠」にも出演。

昭和四八年、東京に生まれた彼女は、日本人の母親とオランダ人の父親を持つハーフ。小学校五年生の時、町でスカウトされ、子ども服のモデルとしてデビュー。六二年、三井リハウスのテレビコマーシャル「転校生・白鳥麗子」役でたちまち人気をさらった。六三年には「ぼくらの七日間戦争」で映画デビューし、毎日映画コンテールの新人賞を受賞。加えて宮沢りえの名前を決定的にしたのが、平成二年の「ふんどしルック」カレンダーだった。

仕掛人は、「一卵性双生児」とも言われる母親の光子。以後、彼女は「平成のヴィーナス」「平成のモナ・リザ」と、人気絶頂のアイドルとなった。

が、この後の彼女には不運が続く。平成四年一月、相撲界のスター・貴花田（現・貴乃花）と婚約。「平成のカップル」と騒がれたが、翌五年一月、婚約からわずか二カ月で破局記者会見。一時は歌舞伎界の旗手・中村勘九郎、市川右近との恋の噂も流れたが実らず、摂食障害による激ヤセが報じられた。六年九月には京都のホテルでの自殺未遂事件、七年には映画「蔵」のヒロイン役降板で、マスコミをにぎわした。

こうした不運を払拭するように、翌八年一月、ロサンゼルスに渡りサンタモニカに在住、充電をはかり、一〇年夏、フジテレビの人気ドラマ「北の国から'98時代」では久々に「女優の顔」を見せた。

勝者・敗者

阿部珠樹

「どつきあって金になる！」 八戦目で世界王者になった 辰吉丈一郎得意の喧嘩殺法

一〇ラウンド終了間際、左のフックが相手の顔をえらえた。隙が見えた。辰吉丈一郎（二二）はそれを見逃さなかった。すかさず、大きな右フックをぶち当てる。それからもう夢中だった。ゴングが鳴らなければ、いつまでも腕を振りまわし続けていただろう。一分間のインターバルが終わっても、相手はコーナーの椅子から立ちあがることができなかった。

平成三年九月一九日、大阪・守口市で行われたWBC世界バンタム級タイトルマッチ。チャンピオン・グレグ・リチャードソンと挑戦者・辰吉丈一郎の試合、辰吉は、一〇回終了TKO勝ちで王座を射とめた。デビューからわずか八戦目だった。

倉敷市出身の辰吉は、典型的な不良少年だった。男手ひとつで育てられた寂しさをまぎらわすため、喧嘩に明け暮れる毎日。父はその子にボクシングを教えた。どつきあって金になるなら、こんないいことはない。早く拳でおやじを楽にしたい。そんな気持ちで飛びこんだプロの世界。素質は飛び抜けていた。予選で体調を崩さず出場していれば、ソウル五輪でのメダルも期待されたボクシングセンスの持ち主である。プロ入りしてからは敵なしの五連戦TKO勝ち。



▲辰吉のアマ戦績は、19戦18勝（18KO）1敗。

その後、辰吉をしのぐ人気ボクサーは、いまだに現れていない。それでも八戦目の世界挑戦は、「早すぎ」「無謀」と見られていた。だが相手が弱みを見せたら、絶対に見逃さず、確実に仕とめる、不良少年時代からつちかっていた「喧嘩殺法」は、世界の壁も難なく乗り越えてしまったのだ。

勝った後、辰吉は人目もはばからず号泣した。涙もろいのも、不良少年の特徴である。

警戒心が強すぎるあまりの道化た言動、リングの上での派手なパフォーマンス、涙もろくて、わがままで、まるでマンガの主人公そのものの辰吉は、たちまち人気者に

1991

フォト＋日録で再現する365日

年明け早々、湾岸戦争が勃発。日本政府は九〇億ドル（約一兆二〇〇〇億円）の追加支援を決定。一方、「バブル経済」の崩壊は、イタマン事件、証券・金融不祥事の続発となって始まった。八月、ソ連は保守派クーデターの失敗で解体の度を速め、年末、ついに六九年間の幕を閉じた。

◀チェルノブイリの子どもたち
来日（7月23日）5年前の原発事故で避難した28人が、ボーイスカウト連盟の招待で成田に到着。新潟・長野でホームステイするなど、きれいな空気を家族のめくめくをプレゼントされた。



日録
20世紀1991

1月

▶田部井淳子(51)、六大陸最高峰
征服(1月19日)南極最高峰・ビンソ
ンマシフ(4897メートル)に登頂。昭
和50年のエベレスト制覇以来16年、
世界で女性初の快挙だった。



読売新聞社

◀ソ連製短銃を押収(1月14日)警視
庁が埼玉・草加の塗装業者を逮捕。
写真は、押収の18丁と実弾。ソ連
軍用トカレフだったが、中国製の廉
価品が大量に出まわり始めていた。



▲列車とタンクローリーが衝突(1月8日)北海道のJR日高線・勇
払一宮小牧駅間の踏切内に、車が立ち往生。列車運転士と乗客49
人が重軽傷を負った。タンクにはガソリンなどが満載されていた。

▶大関霧島(31)、遅咲き初優勝
(1月27日)大相撲初場所千秋
楽、横綱北勝海を吊り出し。史上
最長、初土俵以来96場所目
にはたした栄冠だった。



読売新聞社

▶モンテカルロ・ラリーで日本車初優勝
(1月30日)各地で13戦を行う、世界ラリ
ー選手権の第1戦で、スペインのサイン
ツの乗るトヨタ・セリカ(写真)が1位。4
位にもトヨタ車が入った。



◀坂本龍一(39)にゴールデン・グローブ
賞(1月19日)ベルトルッチ監督「シェ
ルタリング・スカイ」で、ホロウィッツと
最優秀作曲賞を共同受賞。3年前の「ラ
ストエンペラー」に続く2回目。



AP WWP

AP WWP

平成3年1月

- 1 火 ●東京三区内の電話局番号が四桁に。
- 2 水 ●バルト三国、ソ連軍に軍事不介入要求の声明。
- 3 木 ●中国・雲南省の梅里雪山登山の京大など日中登山隊の一七人遭難平成10年遭難収容開始。
- 4 金 ●前年の交通事故死亡者は一万二七三人、過去一六一年間で最悪、と警察庁。
- 5 土 ●三歳男子の平均身長一五八センチ、一歳女子は一四六センチで九〇年前の二〇歳並みと文部省。
- 6 日 ●EC加盟二カ国を結ぶ新幹線計画スタート。
- 7 月 ●欧州旅行中に消息を断った日本人三人が、北朝鮮に滞在と外務省の調べで判明。
- 8 火 ●仕手戦がらみの巨額脱税で起訴されている、稲村利幸元環境庁長官が議員辞職願いを提出。
- 9 水 ●米の日本人所有ゴルフ場は二〇、と新聞に。
- 10 木 ●ソウルの日韓外相会談、在日韓国人の指紋押捺の二年以内廃止を合意、覚書に署名。
- 11 金 ●ソ連軍、リトアニアに侵攻(13日市民に発砲し三人死)。15日ラトビアにも侵攻。
- 12 土 ●セゾングループ代表の堤清二が引退を表明。
- 13 日 ●都銀二行で日曜日の預金引き出し業務開始。
- 14 月 ●東京国税局、イタマン前常務・伊藤寿永光の自宅などを脱税容疑で捜索(イタマン事件)。
- 15 火 ●岐阜・笠松競馬出身の人気馬「オグリキャップ」に岐阜県スボーツ栄誉賞が贈られる。
- 16 水 ●電力九社、ゴミ発電の購入費二倍値上げ決定。
- 17 木 ●多国籍軍がイラクを空爆、湾岸戦争始まる。
- 18 金 ●福島県の中二の男子が英で心臓移植手術。
- 19 土 ●田部井淳子が南極大陸の最高峰に登頂し、女性として世界初の六大陸最高峰を制覇。
- 20 日 ●総務庁、輸入食品の安全性検査不十分と発表。
- 21 月 ●イラクが空爆への二度で戦略拠点に捕虜収容。
- 22 火 ●日本の南極地域観測隊、世界初の周回気球による南極大陸一周観測に成功。
- 23 水 ●米国経済の景気後退を米政府が言明。
- 24 木 ●日本政府、多国籍軍への九〇億ドルの追加支援決定(31日、政府財源に石油など増税と決定)。
- 25 金 ●車庫法改正で、軽自動車にも車庫義務づけ。
- 26 土 ●東京・文京区、区費による野良猫の遊玩開始。
- 27 日 ●総務庁調べで「パチンコ」が一兆九千億円に成長。
- 28 月 ●原油の中東依存度は七一・五割と通産省。
- 29 火 ●法制審議会、夫婦別姓の審議を始める。
- 30 水 ●平壤で日朝国交正常化の政府間交渉開始、日本が初めて過去の歴史に遺憾の意を表明。
- 31 木 ●全農中、社宅建設用に遊休農地活用を決定。



共同通信社

▶朝鮮学校、高校野球参加へ(3月2日)神奈川校軟式野球部の加盟申請に、日本高校野球連盟が認可。韓国学校、アメリカンスクールなどの門戸開放も決めた。写真は、出場を喜ぶ神奈川校の生徒たち。



毎日新聞社



澤村誠志/兵庫県立総合リハビリテーションセンター提供

▲ドクちゃん(10)、Vサイン(3月7日)分離手術に成功した結合体双生児の一人が、ホー・チミン市の病院で、澤村誠志医師製作の義足を使い歩行訓練。自力で10メートル歩くことができた。

▶米国がコメのPR(3月16日)千葉・幕張メッセの国際食品・飲料展最終日に出品。日本コメ市場の早期開放がねらいだった。



共同通信社

▲M.C. ハマー躍動(3月26日)前月に米国グラミー賞最優秀賞を受けたラップの王様(28)が来日。超満員の東京ドームで、20人を超すダンサーとともに歌い、踊りまくった。



読売新聞社

▶鋼鉄の橋桁落下(3月14日)広島市で「新交通システム」の高架式軌道を架設中、10メートル下の県道に落下。14人が死亡、9人が重軽傷を負った。



読売新聞社



読売新聞社

▼美浜原発2号機、自動停止(2月9日)福井の関西電力原子力発電所で、蒸気発生器の細管が破れて放射能を含む冷却水が漏出。炉心停止装置が緊急作動する、日本初の大規模な事故となった。



共同通信社

▲皇太子徳仁親王(31)が立太子礼(2月23日)皇居宮殿「松の間」で、天皇・皇后両陛下を前に宣明の儀。皇位継承者であることを内外に披露。皇太子は、力を尽くしたい、と決意を表明した。



読売新聞社

▲札幌で大雪(2月)平年の480センチを上回り、観測史上最高の637センチを記録、被害が続出した。写真は雪の重みで倒壊した石造倉庫。車18台が大破した。

▶新都庁舎、一般公開(3月)4月開庁を前に、地上48階、高さ243メートル、日本一の豪華高層ビルが公開された。設計・丹下健三。6日間に17万人が見物した。



読売新聞社



ロイター サンテレフト

▲東北道で玉突き事故(2月26日)福島県桑折町で、20台が次々衝突。2人死亡、13人が負傷した。四輪駆動車が凍結路面で滑ったのがきっかけだった。

▲デクラーク南ア大統領、アパルトヘイト撤廃宣言(2月1日)前年には黒人解放運動組織ANCの議長・マンデラを27年ぶりに釈放。南アの民主化を進めた。



読売新聞社

平成3年3月

- 1金 ●東京地検 仕事集団「光進」の小合光代表を蛇の目ミシンから一九六億円恐喝容疑で逮捕
- 2土 ●高野連、神奈川朝鮮中高級学校の加盟認可
- 3日 ●総理府調査で延命医療拒否が四六八と判明
- 4月 ●大阪地裁、参院選の京極派選挙違反事件で二一人全員に無罪判決、大量無罪の新記録
- 5火 ●労働省、強制連行の朝鮮人は約九万人と発表
- 6水 ●イトヨーカ堂グループが「セブン・イレブン」の本案、米・サウスランド社を買収
- 7木 ●福岡市に女性助役・加藤子誕生
- 8金 ●米国の特許取得企業ランキンで、日立が一位、四位まで日本企業が独占
- 9土 ●日ソ女性スキー隊、ベリリング海横断に成功
- 10日 ●総工費一五七〇億円の東京新都庁が一般公開、約六万人が最高四時間待ちで入れたのは半分
- 11月 ●建設省土木研、世界最大の風洞実験施設完成
- 12火 ●東京電力、世界初のLNG一貫発電所完成
- 13水 ●小中学校の成績を絶対評価中心と文部省決定
- 14木 ●広島市で工事中の橋桁が落下し一四人死亡
- 15金 ●大相撲六日目に、幕内初の外国人力士同士の取り組み、小錦対曙は押し出して曙の勝ち
- 16土 ●最高裁、戦時中の横濱事件の再審請求棄却
- 17日 ●ソ連・サハリン州で住民投票実施、日本への領土返還に反対七割、賛成二割
- 18月 ●東証平均株価、七カ月ぶり二万七〇〇〇円に
- 19火 ●都心と成田空港結ぶ成田エクスプレスが開通
- 20水 ●宇宙科学研、月探査機「ルナA」の開発を決定
- 21木 ●中国、北方領土で日本支持を転換、中立と発表
- 22金 ●文部省、日本国籍に限定した公立学校教員の国籍条項の廃止を決定
- 23土 ●総理府の世論調査で七割が外国人労働者容認
- 24日 ●ナチスが略奪したセザンヌ・ゴッダなどの絵画をソ連のエルミタージュ美術館が収蔵と判明
- 25月 ●インド政府、人口八億四三九三万人で、過去一〇年間で一億六〇〇〇万人増加と発表
- 26火 ●日航機墜落事故(昭和60年、五四遺族とボーイング社が和解、未成立は一〇遺族)
- 27水 ●東京地裁、鹿川裕史君(いじめ事件)昭和61年で暴行グループに賠償命令、学校の責任不問
- 28木 ●子どものいない家庭が初の六割突破と厚生省
- 29金 ●西淀川公害訴訟で大阪地裁が企業に賠償命令
- 30土 ●写真史の研究目的に日本写真芸術学会設立
- 31日 ●ワルシャワ条約機構の軍事機構が正式解体

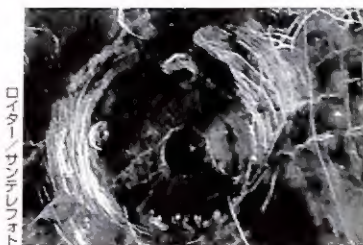
平成3年2月

- 1金 ●南アのデクラーク大統領、アパルトヘイト根幹法撤廃宣言、6月17日アパルトヘイト終結
- 2土 ●ヨルダン、自衛隊機の日本人移送に同意
- 3日 ●伊共産党、左翼民主党と改称
- 4月 ●第1回、合併二〇年人事部を一本化
- 5火 ●鈴木知事が四選出馬表明(7日NHKの磯村尚徳、自公民の共同候補として出馬表明)
- 6水 ●外国人留学生急増、平成元年より三割増の四万二四七人と文部省
- 7木 ●国語審議会、外来語表記に「ヴァ、トウ」など原音に近い表記三音の使用認可を答申
- 8金 ●大蔵省、ノンバンクの貸付残高は五七兆六四〇〇億円で四割が建設、不動産関連と発表
- 9土 ●東京で日本初の臓器移植患者の会結成
- 10日 ●福島県美浜原発で、国内最大級の冷却水もれ事故(21日柏崎原発、22日女川原発で事故)
- 11月 ●医療費不正請求九億円は過去最高と厚生省
- 12火 ●英、一六五年ぶりに宝冠を復活へ
- 13水 ●南北朝鮮が平壤で行う世界卓球選手権に統一チーム結成で合意、4月24日(コリア)で出場
- 14木 ●ノルディック世界選手権で、三ヶ田礼一郎日本男子複合団体で銀三、初のメダル
- 15金 ●米国籍客機、日本人乗客がゴミ袋を爆弾と発言したため成田に緊急着陸、乗客を逮捕
- 16土 ●初の女性向けタリ紙「エルコ」発刊
- 17日 ●政府、自衛隊による政府専用機の運航を決定
- 18月 ●作家 瀬戸内寂聴、湾岸戦争反対の断食に入る
- 19火 ●「JIA」へ略称変更を決める
- 20水 ●高卒者の就職内定は最高の九一割と文部省
- 21木 ●東京でダイヤルQ利用のテレクラ経営者を労基法違反で逮捕、女子中高生六〇人を捕縛
- 22金 ●イラクがクウェートの油田に放火と米軍発表
- 23土 ●皇太子徳仁親王、立太子宣明の儀
- 24日 ●湾岸戦争地上戦へ突入(26日、イラク軍撤退宣言、27日、米大統領、勝利宣言)
- 25月 ●佐川急便グループ、三五億円申告も発表
- 26火 ●中国、長江をせき止める三峡ダム計画に着手
- 27水 ●スペインでバス事故、日本人観光客九人死亡
- 28木 ●青森・宮崎間で自衛隊機による米軍輸送を開始、日本の湾岸戦争間接支援
- 29金 ●JR東海、新幹線「スーパーひかり」の高速試験で、時速三三・七の国内最高を達成



共同通信社

▲牛肉自由化スタート(4月1日)内外価格差が4倍もあるため関税を漸減、2年後の5割値下げが目標。米・豪が攻勢を強める中、国内産地は、規模拡大・ブランド強化に乗り出した。



▲金星に火山があった(5月29日)NASA(米航空宇宙局)が、金星探査機「マゼラン」による、画像を公表。巨大な火山や、パンケーキ型の溶岩ドームが鮮明に見えた。



▲バングラデシュで死者14万人(4月29日)南東部の海岸地方に、最大規模のサイクロンが上陸。最大の輸出入港・チッタゴンには壊滅、800万人が飢饉に直面した。



読売新聞社

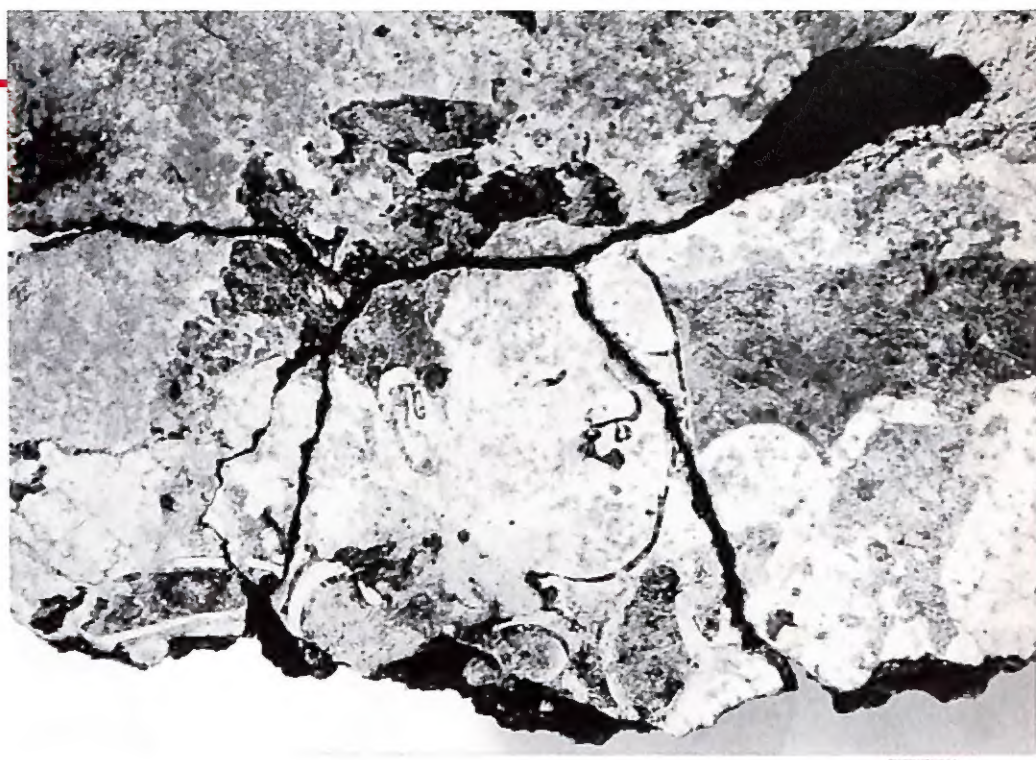
▶「汚れた英雄」マラドーナ(4月26日)スーパースター(30、右)が、コカイン服用で伊サッカー連盟から出場停止処分中、また麻薬所持で逮捕された。



◀豪華客船「飛鳥」が進水(4月6日)日本郵船が約140億円で、三菱重工長崎造船所に発注。定員584人、映画館やプールを備え、船旅ブームをねらった。



読売新聞社



読売新聞社

▲白鳳期の彩色壁画が出土(5月15日)鳥取県の上淀庵寺跡から約400点も。7世紀後半〜8世紀初頭の日本最古級のもので、古代仏教史上の画期的発見。「釈迦説法図」を構成する神将(写真)などが確認された。



共同通信社

▲勝新、強制退去(5月12日)前年、ハワイで麻薬所持容疑で逮捕された俳優・勝新太郎(59)が、帰国。21日、警視庁が逮捕。翌年、東京地裁は、執行猶予4年を言い渡した。

◀野茂英雄(22)、日本新(5月9日)対日本ハム戦で2対5と敗れながら完投、6試合連続2ケタ奪三振を記録。この年、パリーグ最多の17勝、最多奪三振287個を達成した。



報知新聞社

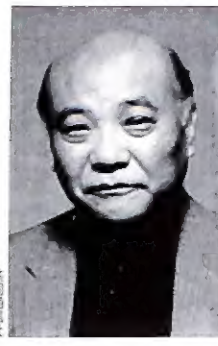
◀ラジブ・ガンジー元首相、暗殺(5月21日)インドのマドラス近郊で、タミル人過激派が爆弾テロ。46歳。元首相の母・インディラも暗殺されている。



報知新聞社

▲松平定知アナ(46)、酔ってタクシー運転手に乱暴(5月25日)朝の「モーニングワイド」のチーフをつとめる「NHKの顔」の汚点。出演自粛を発表した。

ロイター/サンテレフォト



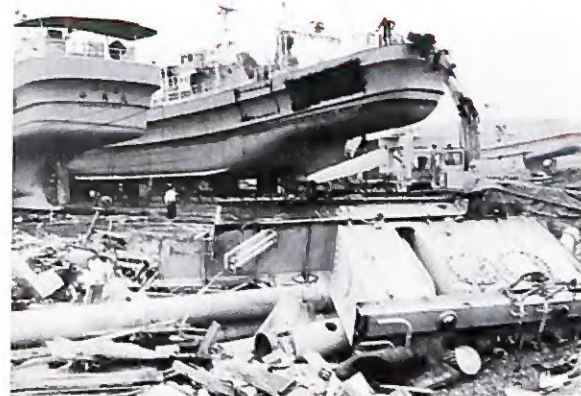
証言・あの日この日
小田島雄志(60)

11月24日(日) 〈十一月二十四日。日曜日。晴。目が覚めて、いくつもある昼間の仕事は放棄し、今日は夜芝居を見るまでのんびりすごすぞ、と決意し、ゆっくり新聞を読みはじめた。ゆっくり読んでいくと、思わず「うん、そうだ」とうなずく文章に三編出合った〉(小田島雄志「新聞に望まれる批評精神」)

「私の紙面批評」を担当していた小田島は、この日の朝刊に出ていた中島誠、高橋章子、別役実のコラムに感心する。いずれも「批評精神による情報見直し」がなされていたからだ。そして、あらためて活字メディアとしての新聞を再評価する。というのも実は、この年の湾岸戦争のテレビ報道で、映像があるがままの真実をナマの姿で伝えているという幻想は崩れていたからだ。湾岸戦争の報道では、ヤラセや情報操作が横行した。(山崎行太郎)



- 平成3年4月
- 1月●牛肉、オランダの輸入自由化を実施。
 - 2月●ソ連、食品や日用品を平均六〇割値上げ。
 - 3月●国連安保理、湾岸戦争の恒久的停戦決議採択。
 - 4月●イタリヤ、川島旅行中の早大生三人が前月強盗団に誘拐と判明(30日までに解放される)。
 - 5月●米、シャトル打ち上げ。五年半ぶり船外作業。七〇年、中山外相と李鵬首相、一九八九年の天安門事件以来の日中関係回復を確認。
 - 7月●統一地方選で自民党圧勝。社会党は地滑りの敗北。都知事選で鈴木俊一が四選。
 - 8月●初の単位制高校、都立新宿山吹高校が入学式。
 - 9月●政府、アイヌ民族を少数民族と初めて明言。
 - 10月●成田税関支署、上智大生が持ちこんだ麻薬のクラック三・九gを初摘発。
 - 11月●社会党、全千島返還から北方四島返還に転換。
 - 12月●全国の中・高校の七割が校則見直しと新聞に。
 - 13月●東京六大学野球で、七〇連敗中の東大が立大を破り、二〇〇勝を達成。
 - 14月●大阪朝鮮高級学校、ラグビー大会に初出場。
 - 15月●ソ連、東欧経済支援で欧州復興開発銀行設立。
 - 16月●ゴルバチョフ大統領が初来日。宮中晩餐会で抑留遺族に同情と挨拶(19日韓国に向かう)。
 - 17月●刑法の罰金額が一年ぶり改定される。最高二・五倍に引き上げ(6月7日、施行)。
 - 18月●日ソ首脳、北方領土問題認めた共同声明発表。
 - 19月●金、人手不足解消のために、女性と高齢者の積極的活用を中小企業に促す。
 - 20月●韓国首脳会談、友好協力条約締結で合意。
 - 21月●芦屋市長に北村春江当選。全国初の女性市長。
 - 22月●静信リースが史上四位の負債額の二五〇億円で倒産。ノンバンクでは初。
 - 23月●東京高裁、松戸市の〇殺人事件(昭和49年)で、小野悦男被告に逆転無罪判決。
 - 24月●閣議、海上自衛隊掃海艇のベルシヤ湾派遣を決定(26日出発、10月30日帰国)。
 - 25月●日ソ電話保有は一世帯平均二台と郵政省。テレビと電話保有は一世帯平均二台と郵政省。
 - 26月●掃海艇派遣反対直訴の現職自衛官三人逮捕。
 - 27月●国際生命尊重連盟、胎児を中絶から守ったと石巻市の菊田昇医師に「世界生命賞」を授与。
 - 28月●米投資家ヒッケンズ、小糸製作所から撤退表明。
 - 29月●バングラデシュで大規模なサイクロン被害。死者一四万人超える。
 - 30月●台湾、中国大陸との内戦状態を終了を宣言。



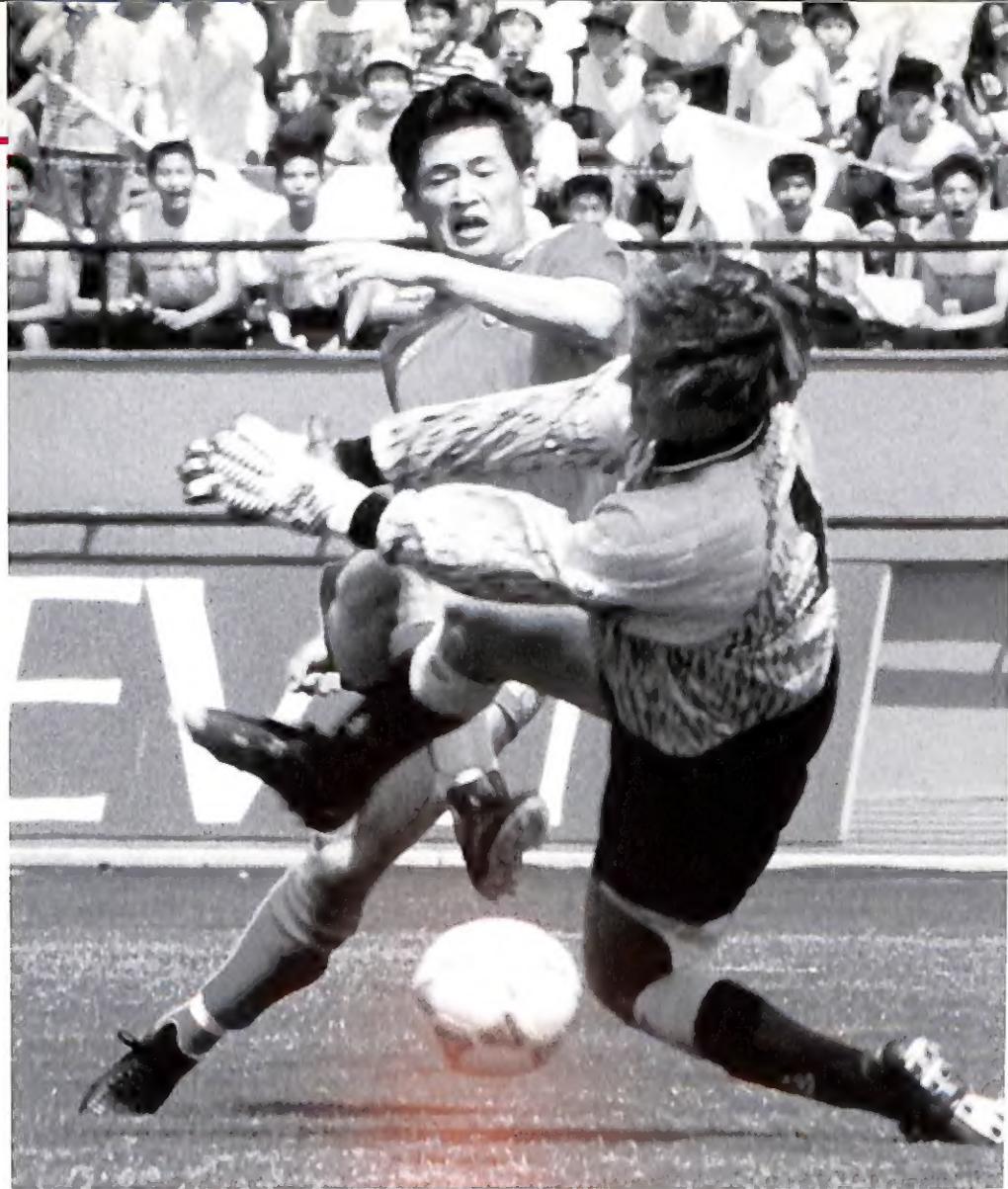
▲サケ・マス沖取り全面禁止(6月27日)日・米・ソ・カナダ4カ国条約交渉で決着。昭和27年来の歴史が終った。写真は、解体される根室の漁船。

▶御殿場で不発弾爆発(6月22日)飾り物に加工していた運送業者と自衛官が爆死。近所の3人が火傷。不発弾は、近くの東富士演習場から持ち出していた。

◀カズ、2得点(6月9日)サッカーのキリン杯最終日、対イングランド戦に三浦知良(24、写真)が、果敢なシュート。4対0で日本代表を優勝に導いた。



▼ユーゴ、泥沼(6月25日)6共和国が利害対立。独立宣言したスロベニアとクロアチアに、連邦維持を掲げるセルビアが宣戦。4年におよぶ内戦が始まった。



報知新聞社



共同通信社

▶東北・上越新幹線、東京駅乗り入れ(6月20日)本格着工から10年、上野―東京間が開通。東海道新幹線との「東西直結」も達成した。写真は、初の仙台発東京行き新幹線「やまびこ」。

◀フィリピンのピナツポ火山大噴火(6月15日)今世紀最大の噴火で、1745メートルの山頂が吹き飛び、直径2キロの窪みができた。写真は、米・クラーク空軍基地上空に上がる噴煙。

ロイター サンテレフォト



「現場」を歩く 山本徹美

難波

かつての南海ホークスの本拠地。大阪球場でいよいよさよならイベント

平成三年四月六日、大阪・浪速区にある大阪球場で「なんば大阪球場住宅博」が開催した。

球場のグラウンド約二万二〇〇〇平方メートルのほぼ半分を敷地にして、住宅メーカー一八社がモデルハウス二棟を建設。すなわち、住宅展示場となった。残りは駐車場のほかにイベント用オープンスペースとし、新型ポルト、新車の見本市会場に。

場に。本邦初「球場内イベント型住宅展示場」の発足である。大阪球場の開設は昭和二三年。一方、南海ホークス球団は同一三年に設立。それまで本拠地のなかったチームは、優勝して日本一になった同三年、米国野球協会日本委員長だったマーク・トット少将(GIQ経済科学局長)を表敬訪問する。フランチャイズ球場がないと知ったマーク少将は同情を寄せ、「青少年の健全育成を目的とするなら、球場建設用資材を割り当ててもよい」と通達。建設が具体化する。

球場用地を確保した南海電鉄の吉村茂社長は、スタンド下の空間を有効利用するため貸室に、と思いつく。が、「青少年の健全育成」をむねとしているので、テナントは教養関係に限定。料理教室をはじめ、日本舞踊や電気技術などの専門学校と古書店が並ぶ文化会館が併設されたのである。しかし、昭和六三年一月、南海電鉄は球団をタイイーに売却。球場は、平成三年までコンサート会場などに利用されていた。

未来都市に变身

平成一〇年九月、大阪球場を訪ねてみた。「住宅博」の垂れ幕はかかっているものの、グラウンドに住宅はなく、低公害車フェアを開催中だった。

球場の管理と運営をする大阪スタジアム興業(株)の住本三郎営業課長に事情を訊く。



▲住宅展示場に変身した大阪球場。大阪府高野連は、予選のための球場さかぎに四苦八苦。

「球場は、二ヵ月後の一月に撤去されます。それにともない、住宅展示場は今年三月で終了。同四月から「さよなら大阪球場」と題して各種イベントを実施しています」

大阪球場から南、約四・五キロの土地は大阪市難波上地区画整理事業の計画により、平成一〇年をめどに大規模な都市整備がなされる。球場跡地周辺には地上三〇階建てのオフィスビルが二棟と、同三階建てのアミューズメントビルが建設され、総事業費は、一〇五億円。

「コンセプトは、未来都市『なにわ新都』で、二一世紀にふさわしい大阪の文化活動拠点をめざします。球場跡を示すモニユメントの創設も検討中です」(大阪スタジアム興業・石井光次開発課長)

住宅展示場としては、七年間で、〇万人を突破する動員数をあげた。が、観客のいないスタンドは殺風景で悲哀すら感じる。球団が売却された時点で球場の使用も終わったのだと思う。球場のピッチャーズマウンドに立つと、老朽化した正面スタンドの向こうに、三六階建ての南海サウスタワーホテルがメタリックな輝きを発してそびえていた。



大阪球場は、平成10年11月にまず北側半分が解体・撤去され、2〜3年後オープンをめどに11階建てのアミューズメントビルが建設される。



▲カルピスが軽い飲み物になった 大正8年誕生の超ロングセラー「カルピス」は、家庭で楽しむ濃縮飲料だったが、あらかじめ水で薄めたカルピスを缶入りにした「カルピスウォーター」がこの年、カルピス食品工業(現・カルピス)から発売され、大ヒット商品となった。その手軽さと、甘さひかえめの



▲即席麺に新顔登場 この年、即席麺の新タイプ、「生タイプカップ麺」が人気を呼んだ。湯切りをすれば、すぐに、生のうどんと同じような味が楽しめるというのがポイント。多くのメーカーが開発を競ったが、明星食品から前年発売された「夜食亭」シリーズは、太めで麺と関西風のスープ、天ぷらなどのかやくが評判で、この年には大きなシェアを獲得した。発売当初価格は200円だった。



▲ファックスが家庭に進出し始めた この年シャープから発売された、家庭用ファクシミリ「U-X-1」がヒットした。厚さ39ミリ、重さ2.8キロという、これまでにないコンパクトなデザインで、家庭での省スペースを考慮。そのうえ、電話回線を増設せず利用できる自動切替機能がついていた。最大B4サイズまで送受信でき、コピー機能がついている点も人気の要因となり、この年だけで20万台を販売した。価格は税別で7万8000円。



函館		1	レース	'91年2回1日
				8月31日
馬番連勝	6	-	7	***100円
	6	-	8	***100円
	6	-	9	***100円
	7	-	8	***100円
	7	-	9	***100円
QUINELLA		9840	合計***50枚	***500円
JRA 函館		0200006782	06939	065307

▲馬券の配当金が高くなった 中央競馬会ではこの年から、従来の枠番連勝馬券に加えて、1、2着に入る馬2頭をその馬の番号で当てる「馬番連勝馬券」を売り出した。枠番連勝馬券では組み合わせが最大36とおりなのに対して、馬番連勝馬券は最大153とおりと、当たる確率は低くなったが、その分、配当金は高くなった。写真は、初めて馬番連勝式が採用された函館競馬場初日における、最初の当たり馬券。JRAフォトサービス提供



▲ぐんぐんと刺激になったテレビゲーム ファミコンで一世を風靡した任天堂が、前年11月にバージョンアップ機種「スーパーファミコン」を発売。この年のゲーム機市場を席巻した。ファミコンの機能や補助機器を生かしながら、多様な色、奥行きのある画面、臨場感のある画面変化、ステレオサウンドなどをもちこんだ新しいソフトを楽しむことができた。価格は2万5000円(税込み)。



▶テレビ受像機が大きく変わった 前年にカラーテレビ第1号の生産から30周年を迎えた松下電器産業が発売した「画王」が、この年テレビ受像機市場の1割を占める大ヒット商品に。ブラウン管をフラットにしたことと、黒を強調した画像に特徴があった。27、29、33型という大画面にBSチューナーを内蔵、臨場感のあるサウンドも歓迎された。発売時の価格は27型で税別17万7000円。

モノ語り'91 ずつきりひかえめと臨場感と 「カルピスウォーター」「画王」スーパーファミコン

▼自然でない自然に人気集中 この年、タカラから発売された玩具「愛鳥倶楽部」が大ヒットして、話題になった。「自然のやすらぎ」をコンセプトに作られた玩具で、揺らしたり触れたりすると、センサーが反応して、本物の野鳥のようにさえずるというもの。これが働きざかりの男性たちに大受け、1個1280円と価格も手頃で、半年間に250万個を売る驚異的な記録を残した。



▲「もものかんづめ」(825円)



▲「病院で死ぬということ」(1262円)



▲「死後の世界」(1165円)

●平成3年のベストセラー

- 1位 『Santa Fe』(宮沢りえ・榎山紀信撮影 朝日出版社)
- 2位 『もものかんづめ』(さくらももこ 集英社)
- 3位 『血族(上下)』(シドニィ・シェルダン アカデミー出版)
- 4位 『ノストラダムス戦後の啓示』(大川隆法 幸福の科学出版)
- 5位 『時間の砂(上下)』(シドニィ・シェルダン アカデミー出版)
- 6位 『だから私は嫌われる』(ピーター・ダーク 新潮社)
- 7位 『タモリ・ウィッチャナンタンの世紀末クイズ』(「笑っていいとも」編集部 扶桑社)
- 8位 『water fruit』(橋口可南子・榎山紀信撮影 朝日出版社)
- 9位 『ホーキングの最新宇宙論』(S・W・ホーキング NHK出版)
- 10位 『宣保愛子の幸せを呼ぶ守護霊』(宣保愛子 大陸書房)

た姉、大都会で一人暮らしを始めた作者に、防犯の珍アイデアを一日中電話で伝えてくる母親など、どこか間が抜けていて温かみのある家族像は、ひたすら経済的な豊かさを追い求めてきたこの時代には、新鮮で心地よいものだった。

また、終末期の患者に対する従来の医療に大きな疑問を抱いた医師・山崎章郎のエッセイ「病院で死ぬということ」が、この年にはベストセラーの一角に顔を出すようになった。特に痛に悩む終末期医療のあり方に、医師の側から異議を唱え、また患者の側にも問題の所在を明らかにした。そして、痛みを和らげる治療法の存在を広く知らしめたり、人は自分の死に方を自分で決める権利があることなどを、具体的な例をあげながら、わかりやすく説いた。

一方、死後の世界に目をやった本もよく売れた。霊能者としてテレビにもよく登場した、宣保愛子の「死後の世界」などである。死後の世界、つまり霊界と現世はつながっているとする著者は、霊界が現世におよぼす影響を記し、現世での生き方を説いた。



▲「おもひでぽろぽろ」のタエ子(左)と、少女時代のタエ子(右)。



▼「息子」のラストシーン近くで、父親(中央・三國連太郎)と息子(右・永瀬正敏)が、息子の恋人(左・和久井映見)と3人で買い物をする。

この年最大のヒット作は、高畑勲監督・脚本、宮崎駿製作のアニメ映画「おもひでぽろぽろ」だった。東京のOL・タエ子が山形の農村を訪れ、自然と触れ合いながら暑い夏の日々を送るうちに、都会生活で忘れていたものを蘇らせるといふストーリー。どのシーンにも、高畑監督ならではの抒情性が漂い、パブル時代に失われたものを、さりげなく問いかける趣があった。

椎名誠の原作を、山田洋次が映画化(監督・脚本)した「息子」も、農村と都会という対照的な舞台を背景にした映画だった。都会で生活する、農村出身の青年が主人公。聴覚に障害を持つ女性との恋と、今も農村に住む父親への反発とが並行して進むストーリー展開で、やがてそれがひとつの流れとなっていく。

この映画の登場人物と同じようなハンディキャップを持つ青年が、恋人に見守



▲「あの夏、いちばん静かな海。」の主人公(右・真木蔵人)と恋人(左・大島弘子)。

スターと名場面 都会と農村を対比して描く 「おもひでぽろぽろ」「息子」

られながらサーファーとなって海に挑むラブストーリー、「あの夏、いちばん静かな海。」もこの年のヒット作。北野武監督が、時代の騒がしさと対照的な深い静けさをスクリーンに映し出した。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かつて内田有也が主演した「髪結いの亭主」(アンナ・ガリエナ)「羊たちの沈黙」(ジョディ・フォスター)

貴乃花光司（八） またも「史上最年少」の記録 大横綱千代の富士に完勝！

◀真っ向から攻めた貴乃花は、初挑戦した横綱千代の富士を寄り切る大横綱の星をあげる

平成三年五月二日の大相撲夏場所初日。この日の中入りの興味は、結び前の一番に集中した。西前頭筆頭の貴乃花（二八＝現・貴乃花）と、西張出横綱千代の富士（三五）の、初顔合わせである。新人幕からちょうど一年目の貴乃花は、まだ一八歳九カ月の新鋭。対する千代の富士は、横綱在位五場所を数え、優勝回数は大鵬に次ぐ三回、連勝記録も五三という史上、一番の記録を持つ大横綱

相撲の次代を担う若武者と、相撲界の第一人者との対戦は、取組の前から、種々な期待感にあふれていた。立ち合い、千代の富士は立ち腰。右を差し、左の前まわしを取った貴乃花は、千代の富士の右胸に頭をつける。受けた形の千代の富士は、貴乃花に右かいなを返され、左上手が取れない。右の差し手は殺されている。千代の富士の得意は右四つ、仕方なく左足前、右足後ろの逆足



◀大鵬の関脇昇進記録。二〇歳三月五日、三十一歳に破った一九歳の貴乃花。

になった。守りの体勢というより、明らかに不利な体勢。

最初に仕掛けたのは千代の富士だった。かいなひねり、突き落とし。しかし、貴

乃花は動じない。このままでは圧倒される、そう思った千代の富士は「引き」に出た。これが千代の富士の敗因になった。この一番について、父であり親方でもある、子山親方（前・藤島親方、現役時代の四股名は貴乃花）は次のように話す。「貴乃花の力がどのくらい通じるか、そう考えていました。取り口について、私の方から口出しすることはいいじゃないのですが、この相撲は、私の考える理想的な一番だったと思います。貴乃花の力はもう十分にある。そして、まだまだ大きく伸びると思いましたね」

この二日後、千代の富士は引退を表明した。横綱大鵬が父・貴乃花に敗れ、引退を表明したのがちょうど二〇年前の五月、四日。父と子は二人の大横綱に土を

つけ、奇しくも同じ日に、相撲界の新旧交代をうながすことになったのである。横綱貴乃花は、昭和四十七年八月二日、東京都中野区生まれ。本名は花田光司。兄は横綱若乃花。伯父は先々代の横綱若乃花（元・子山相撲協合理事長）である。兄の勝（若乃花）とともにのびのびと育てられた光司は、昭和五十四年四月、杉並区立松ノ木小学校に入学。「相撲なんか大嫌い」と言っていた兄とは違い、弟は「わんぱく相撲」に励み、四年生の時にはその横綱になった。

昭和六〇年、明大付属中野中学入学、相撲部に所属した。その光司が、兄とともに父の藤島部屋（当時）に入門したが、昭和六三年一月二八日のこと。すでに進学も決まり、卒業を目前に控えた時だった。同年三月、貴乃花の四股名で春場所に初土俵を踏んだ。以降、貴乃花の活躍は、「史上最年少」というスピード出世記録の更新に彩られることになる。以下、それを簡単に列記してみよう。

幕下優勝「一六歳九カ月、十両昇進」一七歳二カ月、幕内昇進「一七歳八カ月、三賞受賞」一八歳七カ月、金星獲得「一八歳九カ月、小結昇進」一八歳一〇カ月、関脇昇進「一九歳、幕内優勝」一九歳五カ月、大関昇進「二〇歳五カ月、

平成五年初場所、大関昇進と同時に貴乃花に改名。平成六年九州場所にはさらに貴乃花に改名。そしてこの場所も、前場所に続いて全勝優勝し、貴乃花は文句なしで第六五代横綱に推挙された。恵まれた素質に加え、豊富な稽古量と強い精神力を備えた横綱貴乃花、優勝一〇回（平成一〇年九月現在）は、史上四位の記録である。



ミャンマーの民主化を訴える 不屈の闘いに全世界がエール スー・チー、ノーベル賞受賞！

▼ノーベル平和賞授賞式には、軟禁中のスー・チーに代わって、夫のマイケル・アリスと二人の息子が出席した。

シルクのブラウスに「フアイティング・ピーコック」（戦う孔雀、民主化運動のシンボル）のバッジをつけ、支持者に向かって語りかけるアウン・サン・スー・チー（四六）。彼女は、一九九一年二月一日に「非暴力運動で、ミャンマーの民主化に貢献した」として、ノーベル平和賞を受賞した。しかし、一九八九年七月から受賞にいたるまで、軍事政権によって厳しく監視され、自宅軟禁の状態が続いている。

彼女は、「ビルマ独立の父」、アウン・サン将軍（一九四七年暗殺される）の娘として生まれた。文学に関心を持つ良家の子女として、インドやイギリスで暮らす。一九七二年にはイギリス人、マイケル・アリスと結婚。その時、マイケルに結婚の条件として、「自分と祖国との間に絶対にはちがひはないこと」という要求を出したそう。いつか祖国のために働かなくてはならないことを予感していたのだろう。こうしたスー・チーの運命を変えたのは、一九八八年四月、母の看病のために帰国したことであった。

命前夜の様相をおびるにいたったのは、ビルマ社会主義計画党（一九六二年結党、ネー・ウイン将軍が議長）の二六年間にもおよぶ一党独裁がゆき詰まっていたからだ。世界の経済発展から取り残され、一九八七年二月には国連から後進発展途上国（最貧国）に認定されるにまでいたる。国民の生活難は、まさに限界点にまで達していた。不満は、学生たちの反政府デモという形で現れ、一九八八年三月十七日の「流血の金曜日」には一般市民も加わり、一万五〇〇〇人の群衆が首都・ラングーン（現・ヤンゴン）の中心部に集まり、公然と「ネー・ウイン政権打倒」を訴えた。

主連盟（NLD）を結成する。彼女の行動力と国民に与える影響力に危機感を抱いた政府は、「アウン・サン・スー・チーは外国で暮らしていてミャンマーのことを知らない」「NLDには共産党員がいる」など中傷。しかし、大多数の国民は、「民主化を象徴する」彼女の言葉に耳を傾けた。ジャーナリスト・三上義一氏は、この当時の彼女と面会した時の印象を「スマートで美人だが、話してみると、はっきりとしたものを言う強い女性だった」と語る。いまだつ政府は、一九八九年七月九日に、国家破壊分子法違反容疑で彼女を自宅軟禁する。さらにNLDの党幹部など数百人が逮捕され、反政府勢力は壊滅的打撃を受けた。

ところが、翌一九九〇年五月十七日の総選挙では、なんとNLDが四八五議席中三九議席を獲得するという大勝利をおさめたのである。予想外の事態に、政府はこの選挙結果を無視。さらにNLDの議員を六〇人以上逮捕して、国際的な批判にさらされる。

一九九五年にいたるまで、彼女の自宅軟禁は解かれなかった。政治信条を曲げず、国外への脱出も拒否する彼女の姿勢は、一〇万人の亡命者のみならず残存する民主勢力にとっても唯一の支えとなる。一九九一年、ノーベル平和賞が授与されたことは、彼女の不屈の闘いへの全世界からの支援を明示したものであった。



▲一九八八年八月二六日の演説会で、スー・チーは「複数政党制による政府の樹立」と、「自由で公正な選挙を実施すること」の2点を繰り返し訴えている。

クリストの大プロジェクト カリフォルニアと茨城に 三三〇〇本もの傘が開く！

スイスのベルン市立美術館の建物を、布で丸ごと包みこんで人々のど肝を抜いたのを皮切りに、「積み上げる」「包む」「張る」といった手法で、現代美術に衝撃を与えてきたブルガリア生まれのアメリカーナ芸術家・クリスト（五六〇本名、クリスト・ヤヴァシエフ）と、その妻のジャンヌ・クロード（仏領カサブランカ生まれ）が、日本とアメリカを結ぶ大プロジェクトを実現した。「アンブレラ、日本—アメリカ合衆国、一九八四—一九九一」である。

準備段階からこの計画を見てきた里美村役場企画課の堀啓一氏は、「傘が立った時、村の人たちは、たまたまうびっくりしました」と言う。

「初めは場違いな感じがしましたが、日がたつと目になじんできて面白かったですね。ただ、村の道路が一本だけで、駐車場もありませんから、交通整理が大変でした。でも里美村が選ばれたことは、村の人の誇りにもなり、村のイメージアップにも役立ったと思います」

クリストたちにこの構想が生まれ、最初のドローイングが描かれたのは、昭和五九年のことである。それ以前にもたびたび日本を訪れていたクリストらは、日本と西洋との、二つの場所に関係したプロジェクトを実現したいという構想があったため、昭和六〇年には、まず九州地方をめぐる、翌六一年には四国地方や茨城県から関西地域を丹後半島まで三三〇〇回、二度目は山梨県や奈良県、さ

らに常磐自動車道を走り三三〇〇回の旅を終え、最終的に茨城県の山村に候補地をしばった。

「開発が進んでいなくて、工場などがなく、農村の人々が積極的に土地利用をしていて、日常生活にエネルギーが感じられる普通の場所」というのが、この地を選んだいちばんの理由である。

昭和六二年、クリストとジャンヌ・クロードはスタッフとともに、茨城県知事・竹内藤男を訪れたのを皮切りに、その後三年をついやし、地権者の農家を一軒一軒訪ね、さらに説明会を何度も開き、プロジェクトへの了承を得ている。

傘一本のサイズは高さ六メートル、直径八・六メートル、重さ三・〇トン。台座となる鉄製フレームは、ネジ状のアンカーで地面に固定され、合成樹脂製のカバーが取り付けられて、そこに人が腰掛けられるようにした。傘は風洞実験や大型送風機を使った実験を繰り返し、開いた状態で秒速二・七メートル、閉じた状態で秒速五・〇メートルに耐えられることを確認して出品した。このプロジェクトのスタッフの一人で



▲カリフォルニアでは、「乾いた風景を満喫する」黄色い傘1760本が並んだ。会期中、クリスト夫妻は何度も日米間を往復し、その喜びを楽しんだという

ある柳正彦氏が、「なぜ傘を使うことにしたのですか」と問いかけると、クリストは次のように答えた。

「この芸術作品の最も重要な一面は空間の使い方の違いを際立たせることにあります。日本では土地の使われ方に、種の幾何学が存在しているのに対し、カリフォルニアには有機的に扱われた巨大で開放的な空間があります。このような状況を反映させるのに傘を使うのです。傘には前も後ろも、右も左もありませんから、私の望むような配置も可能なのです。また傘が内部空間を持っている点も気に入っています。傘は『壁のない家』であり、その下に入った訪問者は守られ、頭上の布に抱き込まれたような気持ちになるでしょう」(クリスト、ジャンヌ・クロード「佐谷画報」)

途方もないエネルギーを要するこのプロジェクトは、日本では会期中に台風による強風に遭い、一度だけ傘を閉じなければならなかった。一方、アメリカでは突風で数本の傘が飛ばされ、若い女性が死亡、数人の負傷者を出した。当時、日本にいたクリストとジャンヌ・クロードは、即座にプロジェクトを中止した。

クリストたちのプロジェクトは、すべてスポンサーをつけずに実施され、宣伝目的の支援を受けないことにしている。クリストは、「作品を完全に自分で支配しなければならぬ」と考えているからだ。この「アンブレラ・プロジェクト」の費用としては、ドローイング、リトグラフ、模型などの販売で、二六〇万円の資金を捻出していた。



▲茨城県常陸太田市、日立市、久慈郡甲美村を走る国道349号線にそって、「日本の農村の深い緑に合う」青い傘1340本が整然と並び、クリストの演出による地形を利用したスペクタクルには、「バレー・カーテン」「走る柵」などがある。



▲地権者の農家の人々を訪ねて、「アンブレラ・プロジェクト」の説明をしてまわるクリスト夫妻のジャンヌ・クロード

「バブルの膿」は「イトマン事件」ではじけた 住銀、野村、興銀はじめ一流銀行・証券会社が軒並み 続発! 金融犯罪と「闇の紳士」



▲証人喚問で田源節也野村証券前会長は「大蔵省の通達違反覚悟で損失補填」と証言。



▲9月4日、参院証券金融問題特別委に証人喚問された岩崎琢弥日興証券前社長。



▲河村イトマン社長が暴走。三〇〇億円の裏社会へ。

イトマン事件、銀行の不正融資事件、証券会社の損失補填事件と株価操作疑惑など——平成三年は日本列島のあちこちから金融犯罪が噴出した年であった。あたかもバブル経済という膿瘍が破裂して、一気に膿が噴き出したかのよう。しかも、かつては地下で暗躍していた「闇の紳士」たちまでが表舞台に躍り出し、表経済とリンクしながら相互にもたれ合うという構図も明らかになった。

**河村イトマン社長が暴走
三〇〇億円の裏社会へ**

「イトマン疑惑 強制捜査へ」 絵画で数十か所 大阪地検きょうにも 元幹部ら特別責任容疑（「読売新聞」平成三年四月二四日）

▶一八世紀末、ナポリに占領され崩壊したベネチア共和国だが、ベネチア・ガラスは一八三〇年代に復活し、かつての技法を駆使して、写真のような飾り足を持った透明ガラス杯などが製作された。



▶一八世紀における貴族の居間を模した展示室。ダイニングとリビングのセットは、当時作られていたさまざまな様式のものを選び、シャンデリアには蠟燭が灯されていた。



ガラス製品を見せて、ガラス製品に対する認識を深めてもらおうという意図もあったようである。

それにしても、展示されたインテリアやガラス製品はゴージャスである。しかも伝統の深みを感じさせるものばかりだから、たとえば、日本のバブル経済のもので「贅沢」が、ただカネにあかせてブランド品を買いたがる徒花でしかなかったことを、あらためて指摘するかのような雰囲気がある。かつてニシン漁と、北海道・本州を結ぶ流通拠点として栄えた

た「商都」小樽に、ふさふさしい施設でもある。

ミュージアムの中身は徹底している。一世紀から一八世紀にかけて成熟していったベネチア文化が、館内を埋めつくしている。一〇に分かれた展示室のひとつひとつに、現存するパラッツォ（宮殿）の名がつけられている。とくにこの小樽にあるモノのいっさいがつかないがベネチア製という凝りようなのだ。

長さ一メートルのゴンドラまでおいてある。観光客を乗せて水の都・ベネチアをガイドする、あのゴンドラの実物である。しかも、ダイアナ妃が乗ったといういわくつきだ。

そのゴンドラを開くようにして配置された展示室は、一八世紀におけるベネチア貴族の館の典型的な居間だったり、豪華な縁取りに飾られた鏡をコレクションした部屋だったり、ベネチアン・ガラスのいくつかの技法を歴史的に追うことのできる部屋だったり、バラエティに富んでいる。

しかもどの部屋に入っても、ベネチアの古きよき文化に直接触れることになるので、次第に「その気」になっていく人も少なくないようだ。蠟燭の揺らめく炎が、シャンデリアを幻想的に浮かび上がらせる、貴族の館の居間に身を置いて自分の姿を、映画のシーンを見るように想像してみたりするわけだ。

そういえば館内には、貴族の衣裳を身



▲18世紀に建設された、ベネチアのパラッツォ グラッシーをモデルにした、小樽ヴェネツィア美術館の外観。

にまつて記念撮影できるコーナーがあり、けっこう人気を呼んでいる。何者かに姿を変えてみることを、人はいつもどこかで望んでいるに違いない。喜々として衣裳を選んだり、カメラに向かってポーズを取ったりしている。館内全体に、中世の豪華を偲ばせる貴族趣味が横溢しているから、それも自然なことのように思えるのである。

「豊かさ」をめぐる、モノと人との関係をいろいろと考えさせるミュージアムでもあった。

●小樽ヴェネツィア美術館
北海道小樽市境町五二七七
電話〇一三四一三三三ー七
JR南小樽駅から徒歩一〇分
開館時間 九時～一八時
休館日 日曜日
入館料 一般七〇〇円



▲ベネチアの伝統を受け継ぐ、現代作家の作品も展示している。これはベネチアン・クォーターの本場であるムネーノ島で生まれた天才的な作家、ミケーレ・ブッパの作品。小樽・ヴェネチア美術館の文化の交差点、今さらいふまでもない。

小樽ヴェネツィア美術館 「水の都」が生んだガラス製品の繊細な 輝きに真の豊かさを実感する

20世紀博物館

桑原茂夫

北海道・小樽市

ここは、かつて東西文化が交流する国として栄えたベネチアの、その豊かな文化を、インテリアとガラス製品を中心に紹介するミュージアムである。小樽の港町としての歴史の中から生まれ育った、地元ガラス会社「北一硝子」が中心になって企画し、財団法人として運営している。小樽を訪れた人に、いわば究極の

ガラス製品を見せて、ガラス製品に対する認識を深めてもらおうという意図もあったようである。

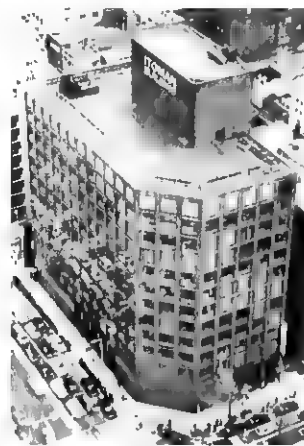
とくにこの小樽にあるモノのいっさいがつかないがベネチア製という凝りようなのだ。

館内全体に、中世の豪華を偲ばせる貴族趣味が横溢しているから、それも自然なことのように思えるのである。

「豊かさ」をめぐる、モノと人との関係をいろいろと考えさせるミュージアムでもあった。



▲女鎖金術師「尾上縫」。経営する料亭「恵川」は倒産、負債総額は推定4100億円



▲イトマン本社ビル。河村前社長は、逮捕時「なぜこんな仕打ちを受けないといけないのか」と語る。

平成三年四月三日、前々年三月初期は、一〇億円の経常利益を出した大阪の中堅商社・イトマンが、元常務・伊藤寿永光（四六）と実業家・許永中（四四）を、特別背任で告訴することを決めた。伊藤や許といった、いわば裏社会の魍魎（わうりやう）と手を組んで暴走する河村良彦（六六）社長を解任してから三カ月がすぎようとしていた。告訴状が受理されたのは、その日の深夜近くのことである。それから数時間後、大阪地検特捜部と

大阪府警捜査二課は強制捜査に着手する。二、四日午前八時すぎ、係官は許が事実上のオーナーである関西新聞社に到着した。また、午前八時二〇分には、兵庫県西宮市の高級住宅街にある河村前イトマン社長宅にも捜索の係官が入った。

イトマンは日本のトップバンクである住友銀行の「別動隊」と言われ、バブル経済に乗じて不動産投融資や絵画取引などに狂奔してきた。しかも、部上場企業でありながら、銀座の一等地を地上げしたことから「地上げのプロ」と呼ばれ、「企業兄弟」としてアングラ社会を泳ぎまわる伊藤寿永光を役員にするなど、そのビジネス感覚は常軌を逸していた。株の買い占めや会社乗っ取りなどでとかくの噂がある許永中との絵画取引も、常識では考えられないものである。しかし、住友銀行出身の河村良彦前社

長には、なりふりかまわず突っ走らなくてはならない理由があった。すでに河村自身が「地下金脈」にどっぷり浸かっていたからである。イトマンの乱脈ぶりに動転した住友銀行サイドの制止にもかかわらず、河村は暴走し続ける。事件を追い続けたジャーナリストの伊藤博敏氏は、「利益追求のためなら何でもする

住友銀行の汚れ役を河村が引き受け、イトマン社員では扱えない土地・絵画・ゴルフ場のバブル三点セットを伊藤や許にまかせた。その結果、巨額のコゲつきが出て、河村、伊藤、許の犯罪となった」と事件の核心を指摘する。

イトマンから裏社会に流れ出た金の総額は、約三〇〇〇億円と言われる。たとえば、絵画取引ではイトマンから五二八億円が支払われたが、大阪地検は実際の価格を一八・一億円とはじき出した。つまり、イトマンは差額である三四七億円をしゃぶり取られたことになる。同様のことが不動産投融資やトンネル融資でも行われ、株の買い占めや地上げ資金となつて裏社会に吞みこまれていった。

七月二三日、イトマン前社長の河村と前副社長の高柿貞武（五九）は商法（白社株取得禁止規則）違反で、伊藤、許は特別背任で逮捕されたが、これは金融犯罪発覚のほんの序章にすぎなかった。

証券会社の損失補填続出 十指にあまる銀行の犯罪

イトマンが金融犯罪の第一幕の舞台だとすれば、第二幕は「世界のノムラ」が



▲7月25日、富士銀行の不正融資が発覚。記者会見で頭を下げる山本副頭取（左から二日目）ら幹部。

舞台となった。開幕のベルは、六月二〇日の「読売新聞」トップ記事が鳴らした。「野村証券 法人損失、六〇億円穴埋め 債券高値買い戻し 昨年の暴落時 証取法違反の疑い」

いわゆる「証券スキャンダル」の発覚である。野村証券と言えば世界一の証券会社であり、大蔵省でさえうかつに手出しできないガリバー企業。その野村が年金福祉事業団、昭和シェル石油、日立製作所などの大口取引先に対して、自社保有のワラント債（新株引受権付社債）や債券を安値で売り、高値で買い戻すという形で損失補填をしていたのである。また、大手の日興、大和、山一と準大手・中堅の証券会社一三社も損失補填していたことが七月末までに判明する。補填額は総額一七・〇億円にものぼった。

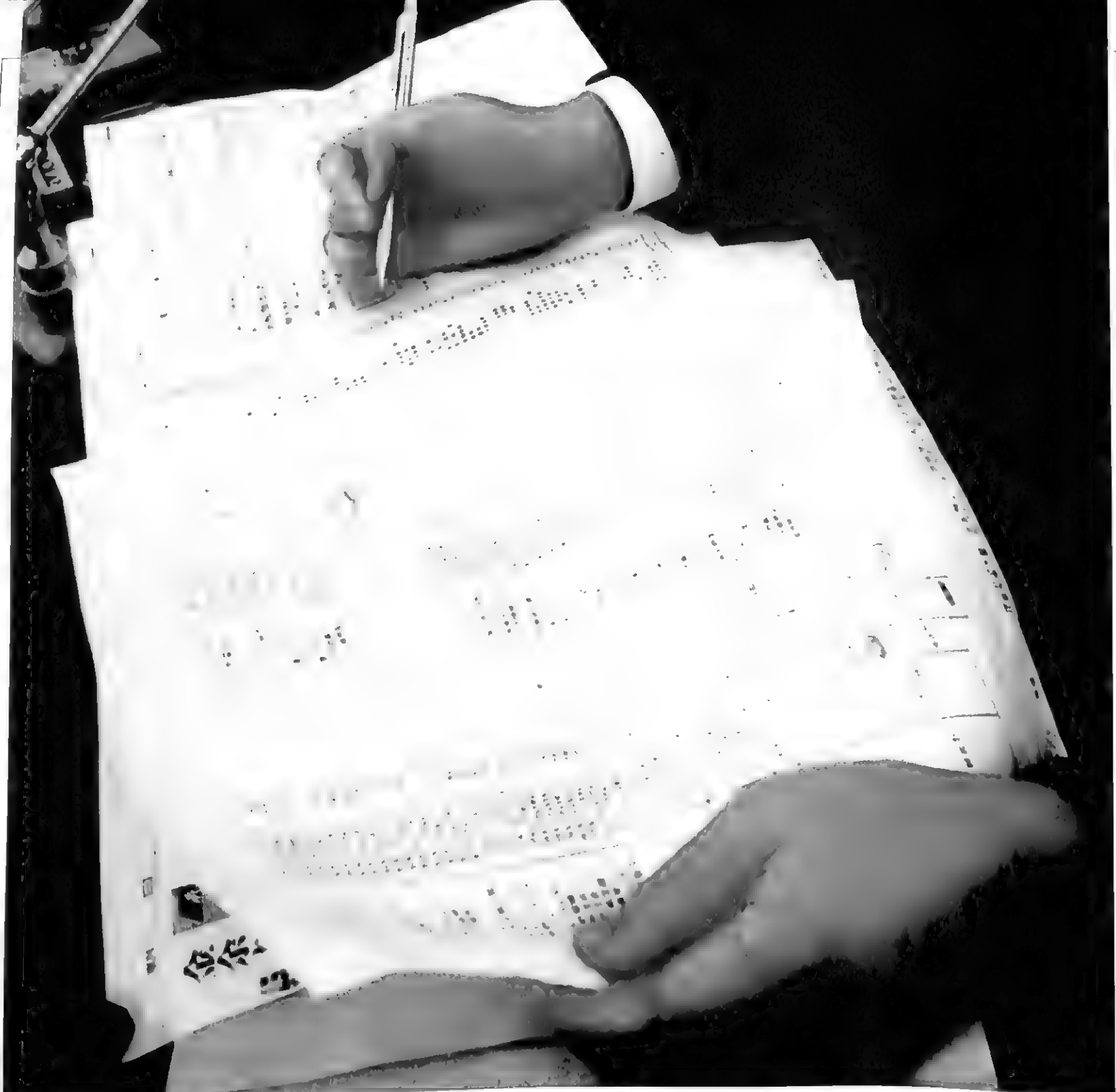
しかも、野村、日興の二社は関連のノンバンクを使って、広域暴力団・稲川会（石井進前会長（六七）に約三八〇億円を融資していたのである。石井はこれを東急電鉄株買い占めの資金にあてており、野村、日興の両社は石井の東急株買い占めを実質丸抱えで支えていたことになる。しかも東急株の買い占めは野村主導で行

われており、「暴力団とのタッグマッチ」による株価操作と指摘された。

さらに舞台はまわって、今度は銀行がスポットライトをあびることになる。主役は尾上縫（六六）という「女相場師」。大阪で料亭を経営する尾上は、日本興業銀行のワリコや同社株を大量に購入し、それを担保に融資を引き出して株に巨額の投資を続けた。時は興銀の黒沢洋頭取（現・会長）が挨拶を兼ねて四回も会食したほどの「優良」顧客で、絶頂期には有望銘柄を教える彼女の「おかげ」にカネの亡者が群がった。ところが、バブル崩壊で資金繰りに窮した尾上は、東洋信用金庫の元支店長と組んで七四・五億円の架空預金証書を偽造。それを興銀や富士銀行、ノンバンクなどに持ちこみ、約三四〇〇億円を詐取したとして八月一日に逮捕されたのである。

このほか、富士銀行赤坂支店の架空預金証書、六〇〇億円発行事件なども発覚し、この夏の銀行犯罪は十指にあまった。儲けんがために甘い審査で融資する銀行、それをチャンスとして暗躍する株の仕手筋や暴力団——まさに汚れきったバブル経済の縮図と言えよう。

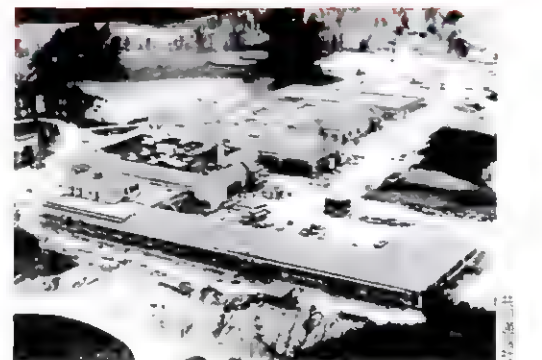
中央大学商学部の奥村宏教授は、「アングラマネー（地下経済）であろうと、カネはカネ。収益をあげるためには利用しない手はない」とばかりに金融機関や商社が群がったものの、逆に食いものにされたという構図が見えてくる。しかも大蔵省は銀行、証券会社の不祥事が発覚するまで、見て見ぬふりをしてきた」と、連年の金融不祥事を分析する。そして、そのツケは、その後の金融破綻となって今現在、国民にまわされている。



▲大手証券4社は7月29日、準大手・中堅13社は31日、608法人、9個人にのぼる損失補填先リストを公表。

フォト+日録で再現する365日

▼「悪魔の詩」の翻訳者殺害(7月12日)五十嵐筑波大助教授(44)が、構内で刺殺された。犯人は不明。著者は、故・ホメイニ師から死刑宣告を受けていた。写真は訳者の遺影。



▲茨城CC、会員権乱発(8月9日)定員の20倍、約5万人に1000億円で販売し告訴されたが、所有主・常陸観光開発は9月に倒産。写真は、工事中のゴルフ場。

▲日本初の脳死肝移植(7月12日)東京女子医大が、肝硬変で生体肝移植手術を受けた59歳の女性に実施。女性は翌日死亡、脳死が確定している。



▶小錦(27)が婚約発表(7月23日)名古屋のホテルで5年越しの交際相手のモデル・塩田寿美歌さん(26)を紹介。大関の小錦は前場所12勝3敗と絶好調、横綱の聲がかかっていた。

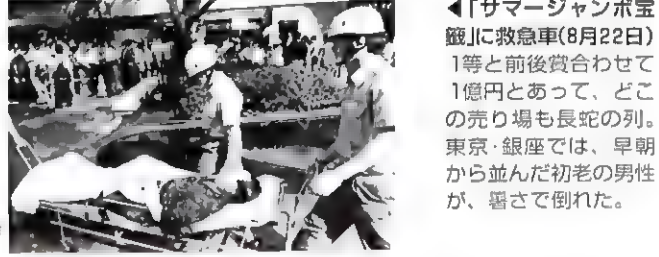
▼「風の学園」生が懲罰で死亡(7月29日)広島県三原市の登校拒否児らの民間施設が、喫煙した少年(14)と少女(16)を、44時間もコンテナ(写真)に監禁。園長は逮捕された。



▲アルバニアから大量の難民(8月7日)独裁政権と経済危機に絶望した数千人が、貨物船でイタリア南部のバリ港に投到。伊政府は強制送還を行ったが、翌年まで後を絶たず、国際問題となった。



▲ルイス(30)、9秒86(8月25日)東京・国立競技場の世界陸上選手権100メートル走で、このところ圧倒されていた新鋭・バレルを、後半5メートルで抜き去り、世界新記録。王座を奪回した。



◀「サマージャンボ宝蔵」に救急車(8月22日)1等と前後費合わせて1億円とあって、どこかの売り場も長蛇の列。東京・銀座では、早朝から並んだ初老の男性が、暑さで倒れた。



証言・あの日この日 天野祐吉(58)

11月30日(土) <ことしの三大ヒット商品、①カルピスウォーター ②「ウォーリーをさがせ!」③宮沢りえ・篠山紀信「サンタフェ」に共通するものは何か。実はこれ、数日前にテレビ東京の番組のなかで、小池ユリ子さんにとつぜん出されたモンダイなのだが、なんというゴジツケの天才であらうか、とっさにはくは正解を思いついてしまったのだ(天野祐吉「CM天気図」)

広告という視点から鋭い社会分析を試みていた「広告批評」編集長・天野祐吉は、この頃コラムニストとしても活躍、余勢をかってテレビにもしばしば登場。ニュースキャスター・小池ユリ子が出した問題の正解は「次元の違う二つのものの組み合わせ」だった。カルピスとウォーター、絵本とゲーム、宮沢りえと篠山紀信。いずれも予想外の組み合わせにその秘密があった。(山崎行太郎)

▼大阪桐蔭、初出場優勝(8月21日)夏の甲子園決勝戦で、沖縄水産に16安打の猛攻をあげ、13対8で勝利。沖縄水産の2年連続準優勝は、史上初。

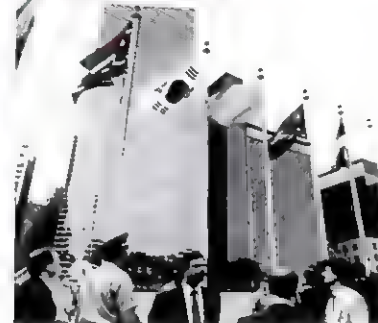


▲大阪桐蔭、初出場優勝(8月21日)夏の甲子園決勝戦で、沖縄水産に16安打の猛攻をあげ、13対8で勝利。沖縄水産の2年連続準優勝は、史上初。

- 平成3年8月
- 1 木 ●労働省、急増する南米諸国からの日系人出稼者のため、日系人雇用センターを開設。
 - 2 金 ●原油価格は湾岸危機前に復帰。ただしガソリン小売価格は便重値上げのみ。新聞に「新情報」。
 - 3 土 ●月に京大病院で生体肝移植の「奇蹟」が現れ、地中海岸で日本中津瀬船衝突。四万、〇台角。
 - 4 日 ●本田技研工業創業。本田宗一郎が死去。
 - 5 月 ●本田技研工業創業。本田宗一郎が死去。
 - 6 火 ●平野公昭市長、西条市市長に就任。初代市長。
 - 7 水 ●企業年金に約1000億円の損失発生。と新聞に。
 - 8 木 ●運輸省、東北・九州整備新幹線の建設を指示。
 - 9 金 ●相模鉄道、立ち合いの「待った」に罰金決定。
 - 10 土 ●中国とベトナムが前線停戦で停戦合意。
 - 11 日 ●マンコ、ババアなどの新熱帯果実がハナナ、バイナフルに代わる急増中。と新聞に。
 - 12 月 ●警察庁、少年の覚醒剤利用が五割増と発表。
 - 13 火 ●大坂地機、東洋電機の総額一四、億円の融資で、尾上雄らを逮捕。
 - 14 水 ●宮城県で連日大雨の体外受精に成功。初内初。
 - 15 木 ●農水省、有機栽培など環境・安全配慮の環境保全型農業への本格的取り組みを決める。
 - 16 金 ●ヤクザに米、ソなど欧米人が加入と新聞に。
 - 17 土 ●中国製薬用車、〇台、日本へ向け初輸出。
 - 18 日 ●伊政府、アルバニアの脱走兵含む難民一万八〇〇〇人を送還と発表。
 - 19 月 ●ソ連の保守派がゴルバチョフ大統領を攻撃。クーデター、モスクワに軍事行動。日米防衛。
 - 20 火 ●台風二号の大雨で関東中心に一人死亡。
 - 21 水 ●夏の甲子園大会で、初出場の大阪桐蔭が優勝。
 - 22 木 ●骨髄移植の全国組織「ひまわりの会」発足。
 - 23 金 ●大蔵省が損失補填を把握しながら黙認と批判。
 - 24 土 ●ウクライナ共和国、ソ連からの独立を宣言。ゴルバチョフ大統領、共産党書記長辞任。党中央解散を勧告。ソ連共産党の事実上の解体。
 - 25 日 ●カール・ルイス、東京・国立競技場の世界陸上選手権一〇〇で、九秒八六の世界新記録。
 - 26 月 ●政府、バルト三国の独立支持を決定。
 - 27 火 ●経産省、大規模な連続五七カ月で過去最長の「いざなぎ景気」に並ぶと報告。
 - 28 水 ●京大、神戸大、翌年度から教員学部廃止を決定。
 - 29 木 ●投資用リースマンション大手のマルコ倒産。
 - 30 金 ●宇宙科学研、太陽観測衛星打ち上げに成功。
 - 31 土 ●駒龍競馬で全国初の馬番連勝制を実施。全日空の「YS11」が最後の就航。



- 平成3年7月
- 1 月 ●東京二区で相対的収支が全面有利。
 - 2 火 ●厚生省、妊娠検査薬を一般医薬品で認可。
 - 3 水 ●郵政省、三三F局の年内認可を決定。
 - 4 木 ●行革審、権限の地方移管などを答申。
 - 5 金 ●日経新聞、証券大手の合併を報道。
 - 6 土 ●政府、製造物責任制度導入の検討を開始。
 - 7 日 ●米誌の富豪番付で森ビル社長が世界一。一〇日、米専門紙の銀行番付で邦銀が六位まで独占。
 - 8 月 ●北朝鮮、国連加盟を拒否。8月、北朝鮮、国連加盟を拒否。8月、北朝鮮、国連加盟を拒否。
 - 9 火 ●政府、湾岸戦争に追加援助。9月、政府、湾岸戦争に追加援助。
 - 10 水 ●天皇、皇后が普賢岳頭火の被災民をお見舞い。
 - 11 木 ●ハワイ、メキシコから南米にかけ今世紀最大規模の台風。日本からの観測者多数。
 - 12 金 ●ベルで反政府ゲリラが日本人三人を射殺。小説「悪魔の詩」日本訳者の五十嵐一筑波大助教授が大学構内で刺殺される。東京女子医大で女性患者に日本初の脳死肝移植手術(13日、患者死亡)。
 - 13 土 ●一〇の県でリソト開発見直し。と新聞に。
 - 14 日 ●米ソ外相会談、戦略兵器削減で合意。
 - 15 月 ●成田空港で眼球、角膜の輸入急増。と新聞に。
 - 16 火 ●島根県NHK会長が国会での虚偽答弁で辞任。
 - 17 水 ●中国、ブノンベン政府を事実上承認。
 - 18 木 ●奥鬼怒スーパードラッグ、館内一〇年で全面開通。
 - 19 金 ●トヨタ、ドア内蔵エアバッグ開発と発表。
 - 20 土 ●石原裕次郎記念館、小樽市にオープン。
 - 21 日 ●鶴岡の武蔵が五、勝、史上最多。と新聞に。
 - 22 月 ●大学入学者資格検定・大検の志願者が過去最多の、万九、八百八、七割が高中退学者。
 - 23 火 ●大阪地機、イトマ事件で河村長官を逮捕。許すCTC、シヤ会長は八人を逮捕。
 - 24 水 ●ベルのリマで反政府ゲリラの爆弾アタック。
 - 25 木 ●富士銀行、貸付、〇億円の不正融資を暴露。27日、東海銀行も八、〇億円の不正融資を暴露。
 - 26 金 ●大阪で朝の最低気温、一度の新記録。
 - 27 土 ●北朝鮮が初の経済特区建設計画。と新聞に。
 - 28 日 ●世界柔道の無差別級で小川直也が連覇。
 - 29 月 ●広島県三原市の施設で、園生二人が「コンナ」に監禁され熱射病で死亡(30日、園長を逮捕)。
 - 30 火 ●米ソ首脳会談、米国が対ソ最悪待遇を付与。
 - 31 水 ●東京株式市場で出来高が三億株を割り、一年前の三割の水準(8月9日、二億株割り)。



▲南北朝鮮、国連に加盟(9月17日)分断国家成立以来、約46年。統一気運も、共存主張の韓国に対し北朝鮮は合併をと、両国は平行線のままだった。写真は国連本部にひるがる両国国旗。

▲きんさんぎんさん「デビュー」(9月13日)歌老の日を前に、鈴木愛知県知事らが、名古屋市に住む数え年100歳の双子姉妹を祝福。これを機に二人はCMなどで「アイドル」となった。



▲台風19号、岐阜神社つぶす(9月27日)最大瞬間風速58.9メートルの強風と高波が、安芸の宮島のシンボルを強襲。本殿正面から瀬戸内海に張り出し、国宝「平舞台」の西側にある、重文の能舞台の屋根が崩れ落ちた。



▲北海道教組、「主任手当」返還(9月4日)主任制を学校管理の強化として反対し、受け取りを拒否。18億円になった手当を道教委に現金で持参した。11月に妥結、組合は小切手で受領した。



▲ザビエル記念聖堂、全焼(9月5日)スペインの宣教師・ザビエルの山口訪問400年を記念して昭和27年に建築、観光名所だった。写真は、炎上する聖堂、平成10年、意匠を一新して再建された。

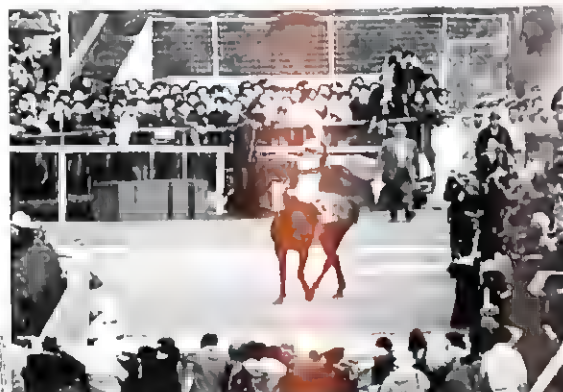


▲谷口浩美(31)、粘走(9月1日)東京で開催の世界陸上選手権のマラソンで、後半、一気に加速。高温・多湿の過酷なレースを2時間14分57秒で制した。



▲リニアモーターカー炎上(10月3日)宮崎県日向市のJR総研実験センターで走行中、車体下部から出火。「超伝導磁気浮上式」唯一の車両だったため、年内の実験が中断された。

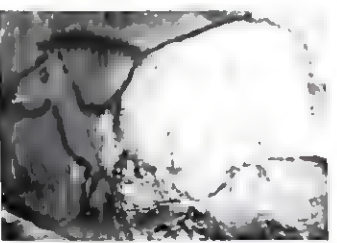
▲国定公園に古タイヤ遺棄(10月22日)アオウミガメの産卵などで有名な徳島・室戸阿南海岸に70万本も。業者は摘発され、ふえ続ける産業廃棄物に、徳島県は、監視強化を打ち出した。



▲武蔵のメジロマックイーン、幻の1着(10月27日)天皇賞で1番人気を背負ってスタート。6馬身差で圧勝と思われたが、向こう正面で進路妨害。最下位降着の大波乱となった。写真はゴール直後。

▲紀元前1万年の壁画(10月18日)仏南東の保蔵地・カシスの洞窟で発見。炭とマンガンで動物や生活風景などが描かれ、有名なラスコー壁画を想起させた。

▲クウェートで油井鎮火式(10月6日)湾岸戦争でイラク軍が放火した732本の油井は、米軍を中心によりやく鎮火された。写真は、式に参加したクウェート首脳。



▲秋篠宮家に長女が誕生(10月23日)紀子妃(25)が宮内庁病院で出産。3238グラム。天皇・皇后両陛下の初孫になった。29日、「眞子」と命名された。写真は、退院する紀子妃と眞子さん。



平成3年9月

- 1 目 横濱市、放火自動車を廃棄物として処分する条例を全国で初めて施行。
- 2 目 米朝トンネル、ノロンドレイ、八〇年間の専業主婦をめぐり、職業未定。
- 3 目 福岡県宝珠山、村の村長選が二回連続無投票。青森で東北新幹線、盛岡、青森間の起式。九州新幹線、17日北陸新幹線も。
- 4 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 5 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 6 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 7 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 8 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 9 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 10 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 11 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 12 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 13 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 14 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 15 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 16 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 17 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 18 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 19 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 20 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 21 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 22 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 23 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 24 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 25 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 26 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 27 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 28 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 29 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 30 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。

平成3年10月

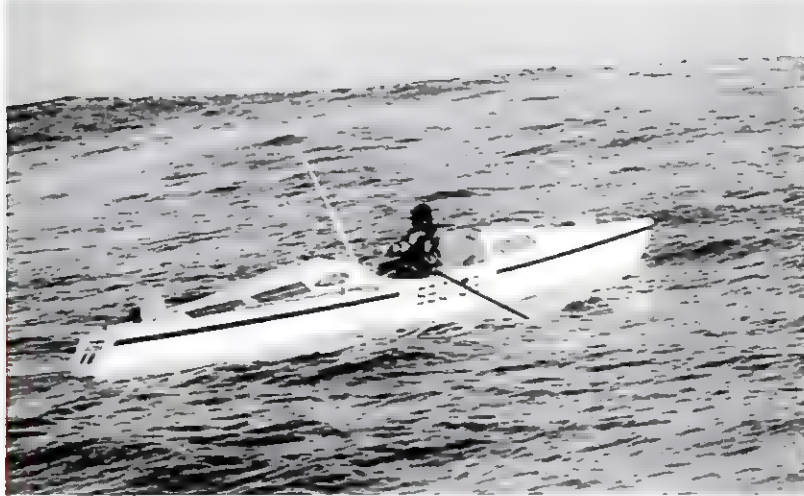
- 1 目 横濱市、放火自動車を廃棄物として処分する条例を全国で初めて施行。
- 2 目 米朝トンネル、ノロンドレイ、八〇年間の専業主婦をめぐり、職業未定。
- 3 目 福岡県宝珠山、村の村長選が二回連続無投票。青森で東北新幹線、盛岡、青森間の起式。九州新幹線、17日北陸新幹線も。
- 4 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 5 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 6 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 7 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 8 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 9 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 10 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 11 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 12 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 13 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 14 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 15 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 16 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 17 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 18 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 19 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 20 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 21 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 22 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 23 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 24 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 25 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 26 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 27 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 28 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 29 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。
- 30 目 山口市のザビエル記念聖堂、焼失。

儀樂多市

流行語

あふれ返るやさしい商品

◀11月21日、千葉県銚子港から手漕ぎボートで太平洋横断に挑み、無事成功したG・ダビユーさん。



「地球にやさしい」環境問題が脚光をあびるにつれ、車から食品まであらゆる商品が「地球にやさしい」ことをPRし始めた。その結果、世の中には地球にやさしい商品があふれ返り、ますますゴミをふやしてしまうことにもなった。

「カード地獄」。カードによる借金が増え、身動きがでなくなること。すでに四、五年前から使われていたが、この年はカード破産が三万件を突破し、前年の倍以上に。さらに破産準備金が四〇〇万人と言われ、あらためて注目された。

「イラム力候補群」。イライラし、ムカッときて暴力や犯罪に走る若者のこと。当時、「キレる」という言葉は若者だけに通じる用語で、社会では「フツツ」という表現が使われた。

社会

湾岸戦争で人気 アンネのバラ

〔京都発〕第二次世界大戦時、ナチスに迫害され、強制収容所で死んだアンネ・フランクゆかりのバラに、注文が殺到している。

苗を育てているのは、京都府綾部市の私立高校教諭・山室建治さん（五〇）。このバラはアンネの隠れ家の裏庭に生えていて、ナチ

三面記事

ニューミュージック調社歌

最近、コーポレートソングという名の社歌が流行している。それも若者向けのニューミュージック調がほとんど。たとえばキーコービーの場合、「浪漫航海」というタイトルで、



▲ビルを串刺しにした、阪神高速・池田線梅田出口の立体道路

It's only my taste for you

香りあるメッセー
船は走り続ける
琥珀色の時の中
魂のすべてを君へ 注ぐのさ
熱いこの愛を
と歌う。もうひとつの特徴は大物のシンガーをそろえたことで、

キーコービーは楠木勇行、資生堂は森川由加里、住友生命は椎名恵など、今をときめくメンバー。最近では「部歌」を作るところもある。ただしこちらはだいたい趣が違う。ロッテ商事菓子営業部が今月作った部歌は「關魂」といい、

無情の風よ 我に吹け
火傷かくこで 抱かんとね
抱かんとね 抱かんとね
肥後は湯の里よ 滾る国
菊池 地獄谷 血がさわぐ
たとえ地の底 針の山
来いというならついてゆく
熱か 熱か
情念も涙も 熱か
恋は一生涯だひとり
それでよかなら
抱かんとね 抱かんとね
愛は勝つ

はやり歌

火の国の女

肥後は火の国よ 恋の国
燃える中岳よ 胸ががす
一つしかないこの命
くれというならくれてやる
熱か 熱か
こころもからだも 熱か
惚れた女を抱きたけりや



昭和八二年に「あばれ太鼓」でデビューした坂本冬美の、日本レコード大賞最優秀歌唱賞受賞曲。新世代の演歌を代表する曲でもあった。

火傷かくこで 抱かんとね
抱かんとね 抱かんとね
肥後は湯の里よ 滾る国
菊池 地獄谷 血がさわぐ
たとえ地の底 針の山
来いというならついてゆく
熱か 熱か
情念も涙も 熱か
恋は一生涯だひとり
それでよかなら
抱かんとね 抱かんとね
愛は勝つ

愛は勝つ

心配ないからね 君の想いが
誰かにとどく明日がきつとある

愛は勝つ



この年のレコード大賞受賞曲。KANが歌った。有線放送から人気が出て、テレビ番組の挿入歌に使われたこともあって、ミリオンセラーに。
Cany an, canny out
傷つけ傷ついて 愛する切なさに
すこしつかれても
〇ちも一度 夢見よう
愛されるよろこびを
知っているのなら Oh

文化

ガマンの限界は五秒!? 日本人の「ぜっかち度」

日本人はせっかちというが、それを数字で見るとどうなるか？ 自販機のトップメーカー、グロリー工業によると、タバコの場合「硬貨やお札を投入して釣り銭が出てくるまでが、五秒。タバコ

スに捕らえられる前、アンネがこよなく愛していたと言われる。これをもとにベルギーの育種家が苗を作り、アンネの形見として父親のオットー・フランク氏に贈った。このバラはオレンジ色で、散る間際に赤っぽく変色するのが特徴。山室さんのいとこが、イスラエルでフランク氏から苗木を譲り受け、山室さんの父の降参さん（昭和六、年、七歳で死去）が自宅に接ぎ木して株をふやし、それから建治さんと親子で代で、この五年間に約六〇〇株を全国に送ってきた。

だが、平成三年は湾岸戦争の影響もあって、平和の象徴としてこのバラを育てたいという人が多く、例年の五倍、五人の申し込みが来ているという。二流新聞「大阪版」三月五日。

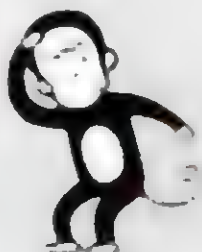
海外

昔なつかしい洗濯板をフィリピンで実演販売

「マニラ発」日本では見かけなくなった洗濯板を、フィリピンで普及させた海外青年協力隊の上田敏博さん（二六）が、その功績でフィリピンの

CM100年

テレビCM「バザールでござーる」(日本電気)



▲障害を乗り越えて、NEC製品の販売店に行こうとするサルが登場、人気キャラクターに。

労働雇用省から表彰された。フィリピンでは電気洗濯機は六〇〇〇台、は約六四〇台で、労働者の平均月収の三倍以上もするため、洗濯はもっぱら木の棒で打ちながら手洗いで行っていたが、これは布が傷みやすく汚れも落ちにくい。上田さんも下宿のおばさんにジーンズの洗濯を頼んだら、ジッパが壊れてしまった。上田さんの赴任目的は机や家具の製作指導だったが、これをきっかけに洗濯板作りを始めた。材料さがしとデザイン研究に、一月かけ、その後訓練所で学ぶ五人に洗濯板作りを伝授。上田さんは各地をまわって実演販売している。板は一枚五、労働者の目当分だが、短時間できれいに洗える」と、洗濯を職業としている女性たちに大受け。今では、全国三カ所の訓練所で洗濯板作りが始まった。

〔中日新聞〕二月五日



▲三月四日、指宿市池田湖で、共同通信記者が北岸の湖面を渡り、あけて移動する生物を撮影。

子ども

男の子の宝もの一位は野球道具

第一生命が、全国一四〇九人の小学生を対象に「宝もの」の調査を行った。それを前回の八九年と比較してみると、（二）こは男の子についてだけ紹介する。前回 今回
1 ミニ四駆 野球道具
2 昆虫 ファミコン
3 兄弟姉妹 昆虫
4 野球道具 ミニ四駆
5 両親 ゲームボーイ
6 ファミコン 自転車
7 犬 ガンダム
8 友だち 両親
9 自転車 家族
10 家族 プラモデル
（大分合同新聞）五月一日

この年の初めの

シンガポールをまねて 東京世田谷に屋台村

●使い捨てコンタクト。米・ボシユロム社とジョンソン・エンド・ジョンソン社が、日本発売開始。●車内電光ニュース。小田急が、四月から、車の電車で流し始めた。

●女子ラグビー。英・ウェールズで第一回ワールドカップ開催。

ゴルバチョフの思惑を超えて進展した「ペレストロイカ」 「三日天下」に終わったクーデターが加速 世界が仰天した「ソ連邦」消滅!

一九九一年八月一九日、「ペレストロイカ（改革）」の旗手、ゴルバチョフ・ソ連大統領追放クーデターが勃発した。側近中の側近が引き起こしたこの政変は、モスクワ市民の勇敢な抵抗により三日間で挫折。皮肉にも、当のゴルバチョフを辞任に追いこみ、設立以来六九年間続いたソ連邦の解体を早める結果となった。

市民の必死の抵抗で挫折したクーデター

「なぜ殺したんだ。誰の命令なのか」
一九九一年八月二一日未明、雨の降りしきる暗闇に、モスクワ市民の怒声が乱れ飛んだ。

その日、ソ連保守派のクーデター劇はクライマックスを迎える。市民鎮圧のため出動したソ連軍との衝突で、少なくともモスクワ市民三人が装甲車に押しつぶされて死亡、十数人が重傷を負った。

市民の怒りは頂点に達していた。午後になると、ソ連邦と対立するエリツィン・ロシア大統領（六〇）がたてこもる共和国政府庁舎前には、数万人の市民が集まり、石や鉄屑でバリケードを築き、ソ連軍との徹底抗戦の構えを固める。

こうした事態に対抗するため、ロシア共和国のエリツィン大統領は、一九日午前一〇時五九分、すべての兵士にクーデター参加の中止を、国民には無期限ゼネストに突入するよう呼びかけた。

クーデターはあつけない幕切れを迎える。発生からわずか三日――八月二一日、モスクワ市民の必死の抵抗の前にもろくも崩れ去ったのだ。エリツィン支持にまわるソ連軍兵士の抵抗も加わり、ソ連軍の戦車には、次々とロシア共和国の三色旗が掲げられていった。

共和国の相次ぐ独立であやうくなった「連邦」

ゴルバチョフ・ソ連大統領が、幽閉されていたクリミア半島からモスクワ郊外のプスコボ空港に帰還したのは、八月二二日午前二時（日本時間午前八時）。大統領は、クーデターを阻止したのは「一九八五年以来の『ペレストロイカ（改革）』の勝利」と指摘、エリツィン・ロシア共和国大統領に謝意を表明した。しかし、すでにソ連大統領としての威信は薄らいでいた。

この年三月、ソ連邦体制の存続を問う国民投票が行われ、連邦を構成する一五共和国のうち、リトアニアなどバルト三国をはじめ、グルジアなど六共和国が投



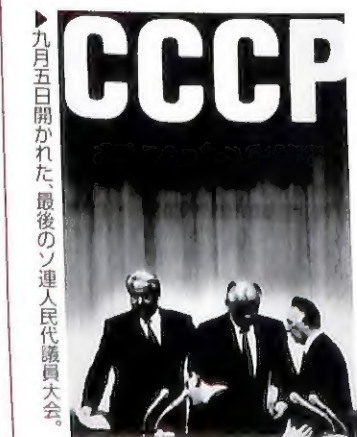
▶ロシア国民の意志と力により、クーデターは粉砕された。八月二二日正午すぎ、勝利集会で市民の歓呼にこたえるエリツィン・ロシア共和国大統領。朝日新聞社



▲8月22日、ソ連秘密警察のシンボルだったジェルジンスキー（KGBの創設者）の巨大な銅像が撤去され、10月にはKGBの解体が正式に決まった。

当時、朝日新聞社モスクワ支局員の島田博氏（現・朝日新聞社総合研究センター主任研究員）は、庁舎前に集まる市民のなまなましい様子をこう回想する。
「なにしろ四〇代、五〇代の年配が目立っていた。中央集権的な共産党の独裁下で育った人たちです。過去には絶対戻りたくない、という強い意志を感じました。また、我々はエリツィンを守らなければならぬ、なぜなら、彼は自分たち市民が直接選んだ大統領だから。ゴルバチョフは、ソ連邦の議会が選んだ人にすぎないとも言っていました。国外では軍縮などで、ノーベル平和賞を受賞して人気がありましたが、街頭で市民の声を聞いてみると国内人気はさっぱりでした。市民の意識はすでに、ソ連邦という枠を飛び越えていたのです」

クーデターの始まりは、二日前の一九九一年八月一九日午前六時八分（日本時間同日午後零時八分）のことであった。「ミハイル・セルゲイビッチ・ゴルバチョフは、健康上の理由からソ連大統領の職務を執行することができなくなったため、私（ヤナエフ副大統領）が一九日からソ連邦憲法一二七条七項の規定により大統領の職務を肩代わりした」
ソ連国営タス通信が、突如、大統領交代の声明を速報する。
クーデターの首謀者は、ゲンナジー・ヤナエフ副大統領（五三）、ウラジーミル・クリュチコフ国家保安委員会（KGB）議長（六六）ら八人。彼らはゴルバチョフ大統領（六〇）の側近だが、ソ連邦の財政基盤である徴税権を、加盟する共和国サイドにおくとする「新連邦条約」の調印を二〇日に控え、それがソ連邦解体につながるのと危機感を深めて、クーデターの拳に出たのである。



「南方特別留學生」Aラザクが 回想するヒロシマの日々

——佐伯修



▲一九三五年、ベナン島に生まれる。

マレーシアの日本語教育とマレー語学の権威である、アブドゥル・ラザク・ビン・アブドゥル・ハミッド（アブドゥル・ハミッドの子、アブドゥル・ラザクの意）は、この年、「私のヒロシマ」という文章を書き、その中で述べている。

「私にとって、あの広島での出来事は私の生涯において最も重要な歴史となっており、一方、広島は私の第二の故郷でもあります。広島の人々は私の家族であると考えています」

一九四五年八月六日朝、広島文理科大学に留学中のラザクは、授業開始寸前の教室で原子爆弾に遭い、二人の友人を失った。そんなラザクは、前年の一九四〇年には、広島での原爆死没者慰霊式典に來賓として初めて参加、この年には、彼の主として日本での体験を小説化した、オスマン・プティの「広島の子」(邦題「わが心のヒロシマ」)小野沢純ほか訳)の日本語版が刊行された。先の「私のヒロシマ」は、ラザクがこの日本語版に寄せた一文である。

一九四二年二月、日本軍は当時「英領マラヤ連邦」だったマレーシア全土を占領、クアラルンプールで見習い教師をしていた一六歳のラザクは、日本軍の「西警備隊日本語学校」で初めて日本語を学ぶ。やがて、当時「大東亜省」が占領地で行っていた、日本留學事業「南方特別留學生」に選ばれたラザクは、東京・目黒の「国際学友会」でさらに日本語の実力をつけた後、四五年四月に広島文理科大学に入学した。

広島で、彼はインドネシアからの三人、ブルネイから二人の留學生と、大手町の「興南寮」で共同生活を開始する。この街の空気は、東京とはかなり違っていた。

「広島では、空襲警報のサイレンがあまり聞かれないし、ましてや爆撃もなく、平穏な雰囲気でした。毎日の生活は質素ながらも普段どおりであったし、手に入るものは何でも食べました。東京にいた時にひどい経験をしていたので、広島での生活に文句はなかったのです」「また、月夜の晩などに、私たち寮生は寮の前を流れる元安川の川べりに腰を下ろして、懐かしい「ラサヤン」や「ブンガワン・ソロ」の歌を唱和して遠くの故郷を偲ぶことがよくありました」ともかく、広島は平穏そのもので、何か落ち着いた雰囲気が感じられました」

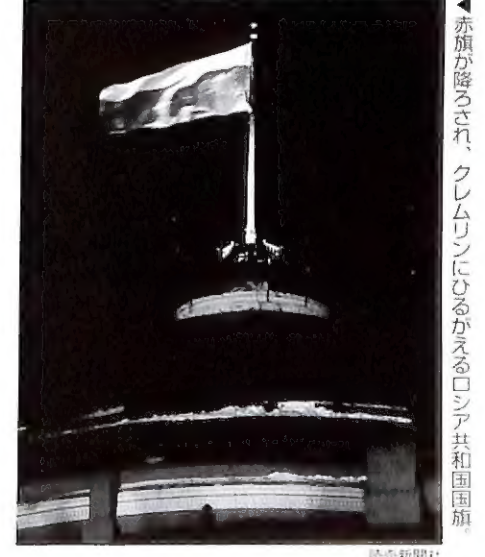
そのすぐ後で、ラザクは「しかし、そうではなくったのです」と書く。広島に投下された原爆は、彼の仲間サイド・オマールとニック・ユソフ・アリ、そして「興南寮」とその寮母を奪い去ったのだった。

票に不参加、連邦の維持はあやうくなっていた。

追い討ちをかけたのは、六月のロシア共和国大統領選挙である。エリツィンが共産党のルイシコフ候補(前ソ連首相)に圧倒的大差で勝利し、ソ連邦を牛耳ってきた共産党の凋落は明らかだった。

今回のクーデターは、かろうじて結ばれていた連邦と共和国の絆を断ち切る結果となった。とりわけ八月二四日のウクライナの独立宣言は、ロシアに次ぐ力を持つ共和国だっただけに、その衝撃は大きかった。ロシア内の連邦機関はすでにエリツィンによって解体され、ソ連邦体制は風前の灯となった。

そして二月八日、ロシアなど三共和国が独立国家共同体(CIS)の結成を表明、同月二日には一共和国が独立国家共同体創設の議定書に調印、二五日にはゴルバチョフがソ連大統領を辞任。ここに、ソ連は設立六九年でその姿を消したのである。



旗が降ろされ、クレムリンにひるがるロシア共和国国旗

「私は、一九九六年にヤナーエフ氏とお会いしました。彼はソ連邦の解体で罪をまぬがれたが、「クーデターは成功すると思っていた。しかし欧米の国々が支持してくれなかったのは誤算だった」と言っていました。ゴルバチョフ氏にもお会いしたが、彼には確固とした信念があるとは思えませんでした。民族独立や市場経済の進展など、「ベレストロイカ」によって生じる事態が読めなかったし、側近に裏切られるなど、まったく政治的判断が甘かったのでは」

こう語るのは、三菱総合研究所客員研究員の中村逸郎氏である。

ソ連邦の崩壊は、ゴルバチョフが掲げた「ベレストロイカ」の落とし子であった。民族の覚醒と民主化への市民の熱望は、ゴルバチョフの思惑を大きく超えていたのだ。しかも、一九九〇年〇月の東西ドイツ統一による、市場経済の拡大と変化にも対応できなかった。まさに、「まわり舞台を演出しながらその速さを判断できないまま、自分が幕の陰に消えていった」(前出・島田氏)のである。

「ソ連邦消滅への歩み」

85年3月	ゴルバチョフがチェルネンコに替わり、共産党書記長に就任
85年11月	軍縮に向け米ソ首脳会談が始まる
86年2月	党大会でベレストロイカ提議
87年11月	ロシア革命七〇周年記念演説で、スターリンを批判する
88年5月	アフガニスタンに駐留するソ連軍の全面撤退開始
89年11月	東西ベルリンの壁が崩壊
90年1月	バルト三国やアゼルバイジャンで、分離・独立運動が激化
90年3月	リトアニア共和国が独立宣言
90年5月	エリツィンが、ロシア共和国最高会議議長に選出される
91年7月	ワルシャワ条約機構の解体議定書に調印する
91年8月	保守派のクーデター起こる
91年12月	ソ連邦が消滅

往きて 還らぬ



▲1月2日 野間宏(75)
小説家。昭和21年「暗い絵」でデビュー、「真空地帯」が話題を呼んだ。46年「青年の環」で谷崎潤一郎賞受賞。



▲1月29日 井上靖(83)
歴史小説の大家。昭和24年「闘牛」で芥川賞受賞。代表作は、大陸に取材した「天の聲」「楼蘭」など。



▲3月25日 田村魚菜(76)
料理研究家。テレビの料理番組のバイオニア。料理をショー化したと言われた。著書に「魚菜のおそうじ」。



▲4月5日 井田幸三(73)
将棋棋士。大山康晴との名勝負で知られ、「新手一生」がモットー。引退後、実力制第4代名人の称号を贈られる。



▲4月16日 デビッド・リーン(83)
英の映画監督。「戦場にかける橋」「アリアンのロレンス」などの名作を残した。1984年ナイトの称号を受ける。



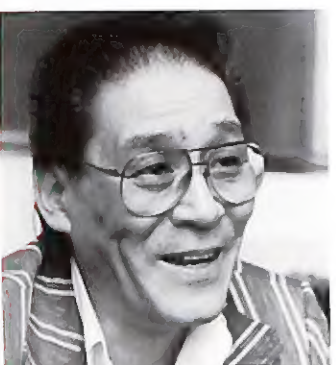
▲6月10日 ディック・ミネ(82)
ジャズ歌手の草分けで、戦前は「ダイナ」「二人は若い」が大ヒット。戦後は「夜霧のブルース」などを歌った。



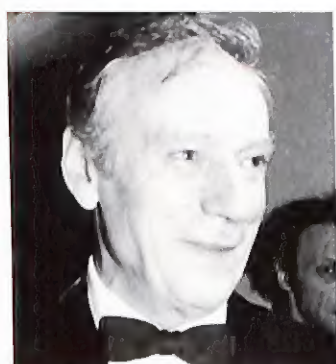
▲8月5日 本田宗一郎(84)
実業家。昭和23年本田技研工業を創設。オートバイ生産から、37年自動車産業参入、本田を世界的企業に躍進させた。



▲9月28日 マイルス・デイビス(65)
米の黒人トランペッター、作曲家。1944年にデビューし、その抑制のきいた演奏法は「クール・ジャズ」と呼ばれた。



▲10月22日 春日八郎(67)
演歌歌手。昭和27年「赤いランプの終列車」、29年「お富さん」が大ヒットし、歌謡界に不動の地位を築いた。



▲11月9日 イブ・モンタン(70)
仏のシャンソン歌手。「枯葉」で世界的に知られ、映画「恐怖の報酬」に主演。1961年以来、たびたび来日。



▲5月14日 江青(77)
中国の政治家、元女優。一九三九年毛沢東と結婚。文化大革命終了時、四人組リレーとして逮捕、獄中で自殺。

活人部



▲5月15日 安倍晋太郎(67)
政治家。岸信介元首相の長女と結婚。昭和三年衆議院議員。農相、外相を歴任。六二年自民党幹事長となる。



▲11月22日 今井正(79)
映画監督。昭和二十四年「青い山脈」が大ヒット。「また逢う日まで」「真昼の暗黒」「キクとイサム」などが代表作。

X

THE DOCUMENT COMPANY

ALL XEROX



©1998 Children's Television Workshop, Sesame Street Muppets ©1998 The Jim Henson Company

PRINTER? XEROX!

クラス[®]唯一のB4対応、高画質、静音設計。コンパクトなカラーインクジェットプリンター。

B4サイズ対応だから、好きな写真や複雑な表・グラフなどのひとまわり大きなプリントが可能。もちろん800dpi[®]の写真高画質や高速印字、さらに静音設計など、さまざまな機能も充実させました。しかも、デスクサイドにすっきり収まるコンパクト設計。カラーインクジェットプリンターをいちだんと身近にした富士ゼロックスの「Jet Wind」。いま、パソコンライフの楽しさを大きく広げて新登場です。

B4サイズ!



サイレント!

New

◎クラス[®]唯一のB4サイズ対応。◎800×800dpi[®]の写真高画質。◎幅広デュアルヘッドによる高速印字。◎メカニカルノイズを大幅に低減した稼働音41dB(A)[※]の静音設計。◎幅39cmのコンパクト設計。◎拡大連写(最大B4サイズ16枚分、タテ4×ヨコ4枚)や小冊子印刷などの多彩なプリンタードライバ機能。◎Windows[®]95/98対応。JetWind 300C 標準価格・・・42,800円(税別/ケーブル別売)

Jet Wind

いま、お楽しみ
「セサミバッグ」
プレゼント!

ご購入頂いたその日から楽しめるハガキ作成ソフト、最新ドライバソフトなどを一緒にいれたセサミバッグをもれなくプレゼントします。キャンペーン期間:11/21(土)～12/27(日)

商品に関するお問い合わせ・資料請求は ☎0120-50-2209 FAX:03-3342-1551 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00 [土・日・祝日は休ませていただきます] (ホームページ) <http://www.fujixerox.co.jp>
※114万円台のフルカラープリンター '98年10月現在 (2) フォトインク使用時 (3) 当社測定結果による ●XEROXとTHE DOCUMENT COMPANYは登録商標です ●「国際エネルギー・プログラム」の基準に適合しています 富士ゼロックス株式会社

